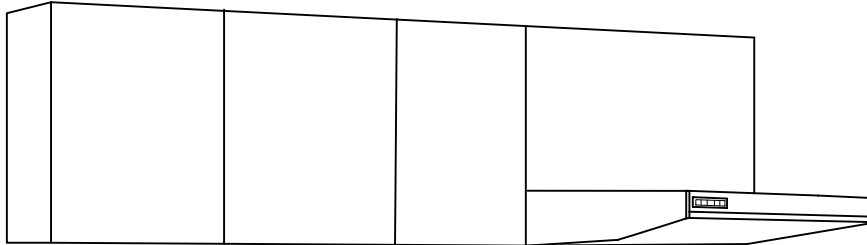
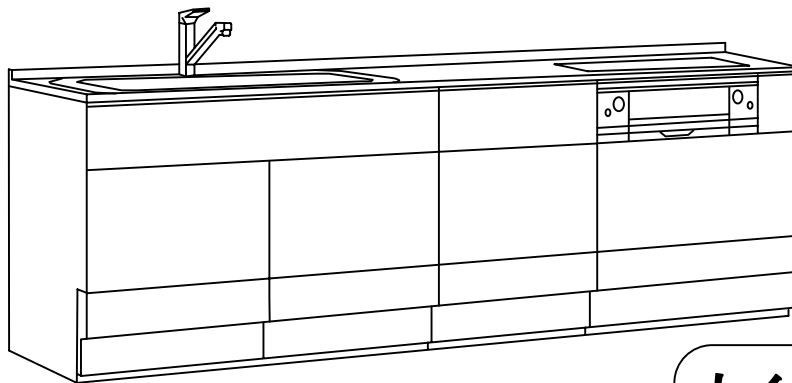


奥行60cmホーロー システムキッチン 設置説明書



EMAGE
エマージュ



もくじ

- | | |
|----------------|------|
| 1. 設置される方へのお願い | 1 |
| 2. 安全上のご注意 | 2～3 |
| 3. 設置前のご確認 | 3 |
| 4. 設置方法 | 4～30 |
| 5. 仕上げ | 31 |
| 6. 安全点検および試運転 | 31 |
| 7. お願い事項 | 31 |

1. 設置される方へのお願い

- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書は、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器および水栓金具については、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ◆設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ◆本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を見逃して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしないで切断面に触ると、けがをすることがあります。

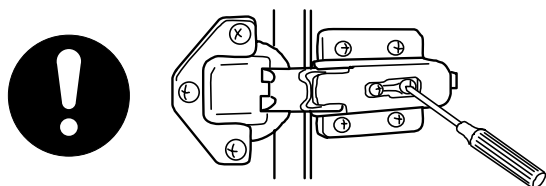
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをすることがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。



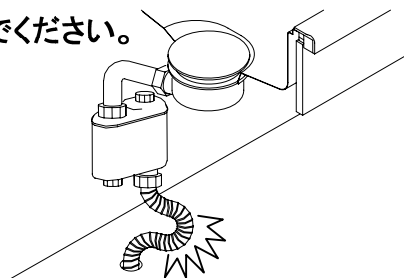
取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジのゆるみや浮きのないように、正しく取付けてください。



取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けしないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。



設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



棚受けがはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1) 給水給湯管・排水管位置
 - (2) 建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3) レンジフードの排気口位置
 - (4) 機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- オプション水栓については、付属の説明書をお読みください。

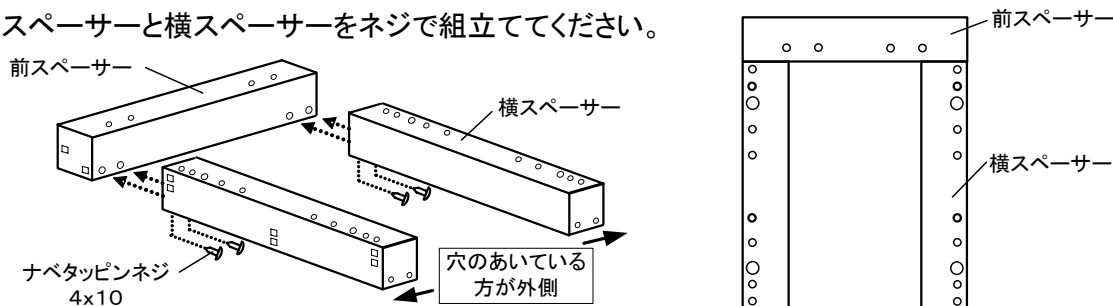
4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. 台輪スペーサーの取付 → 2. 吊戸棚・レンジフードの取付 → 3. エンドカバーの取付 →
4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付 → 5. ベースキャビネット設置前の準備作業 →
6. ベースキャビネットの設置 → 7. 水栓の取付 → 8. ワークトップの設置 →
9. 加熱機器の設置 → 10. 食器洗い乾燥機の設置 → 11. 配管蓋・点検口蓋の穴加工 →
12. 排水部品の取付 → 13. 排水管の接続 → 14. 給水・給湯管と水栓の接続 →
15. エンドパネルの取付 → 16. その他部品の取付 → 17. 扉の調整

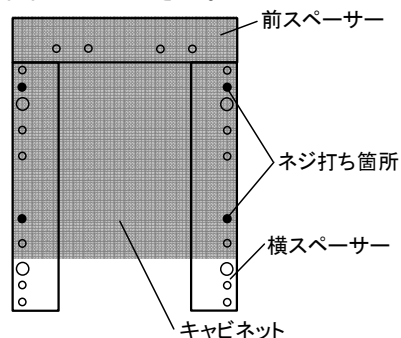
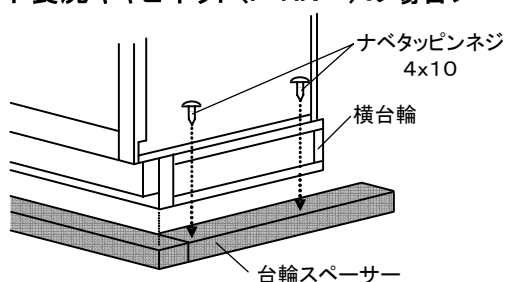
1. 台輪スペーサーの取付(ワークトップ高さ900mmの場合のみ)

①前スペーサーと横スペーサーをネジで組立ててください。

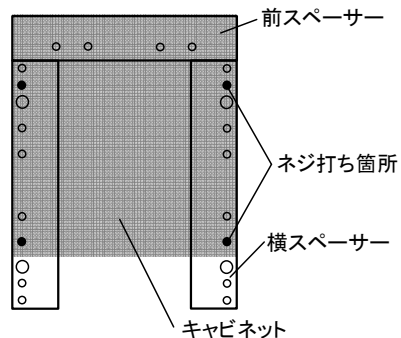
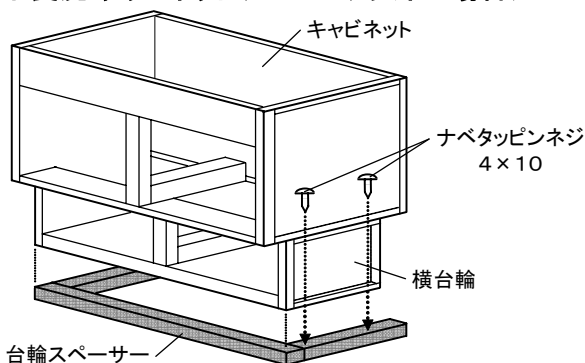


②台輪スペーサーの上にキャビネットを載せ、横台輪からネジで取付けてください。

<シンク下食洗キャビネット(F-RR~)の場合>

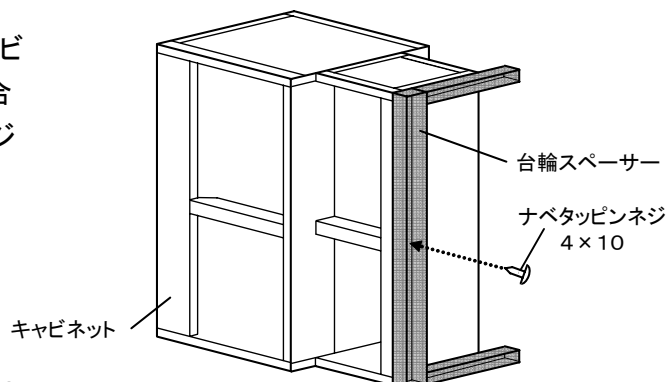


<シンク下食洗キャビネット(F-RR~)以外の場合>



③間口60cm以上のキャビネットで、間口中央部にキャビネットと台輪スペーサーとの間に段差が発生する場合は、キャビネットを横に倒して台輪スペーサーからネジで固定してください。

注)キャビネットは後に倒さないでください。
台輪スペーサーを損傷する恐れがあります。



2. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフードに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

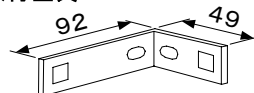
3. エンドカバーの取付

＜シンク下食洗キャビネット(F-RR～)以外にエンドカバーを取付ける場合＞

①キャビネットの後部に取付金具GU・GDをトラスタッピンネジ4×10で取付けてください。

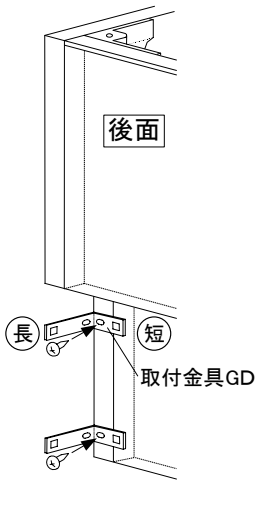
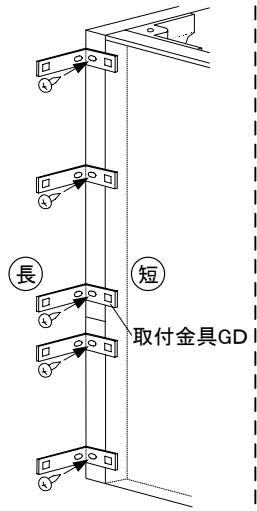
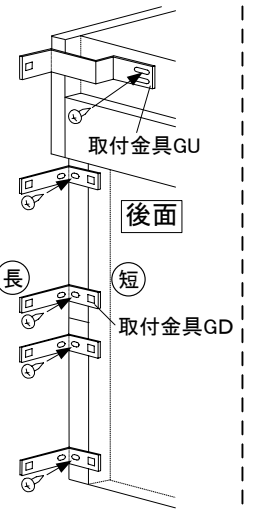
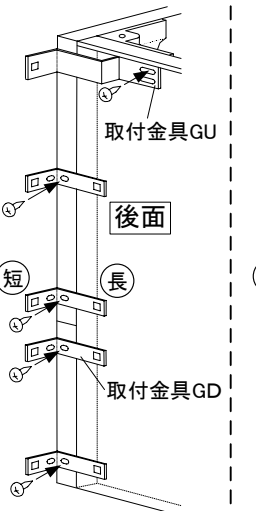
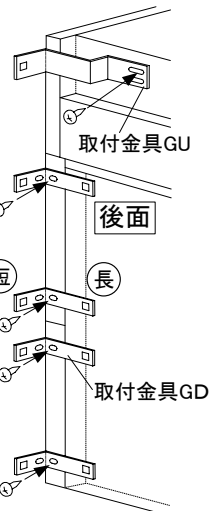
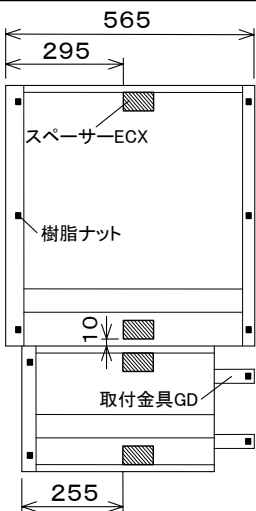
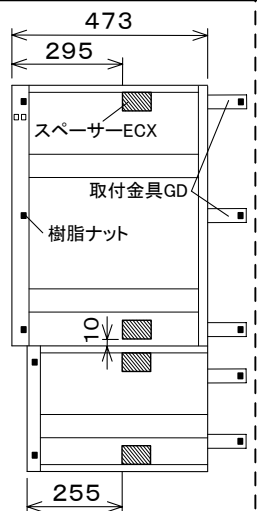
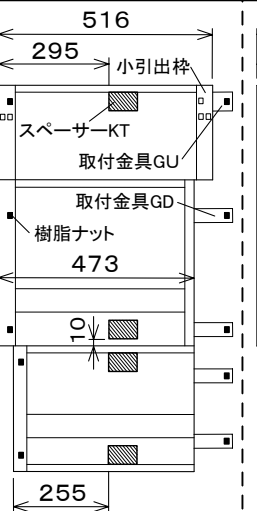
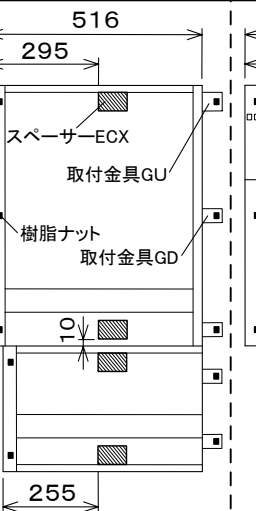
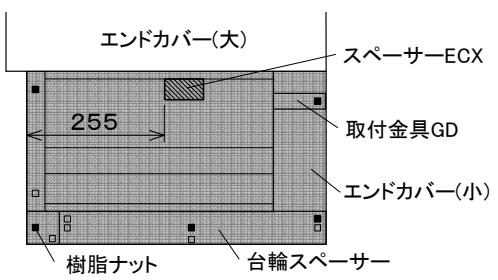
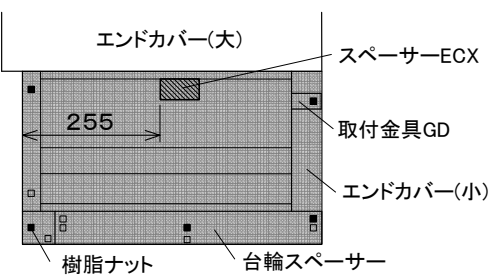
注) 取付金具GDは2方向に取付が可能です。
取付方向に注意してください。

＜取付金具GD＞



②キャビネットにスペーサーを貼付けてください。

③キャビネットおよび取付金具に樹脂ナットを取付けてください。

エンドカバーを取付けるキャビネット					
	F-RN~	F-TFVZ~	F-KTVZ~	F-TFVY/F-KEYV~	F-KTVY~
取付金具の取付					
スペーサーの貼付・樹脂ナットの取付					
高さ900mmの場合					

注)コンロキャビネットにエンドカバーを取付ける場合は、小引出枠を先にキャビネットに取付けてください。
(11ページ参照)

④奥行565mmのキャビネット以外にエンドカバーを取付ける場合は、コーキングのバックアップのため、ワークトップの裏面にソフトテープを貼付けてください。

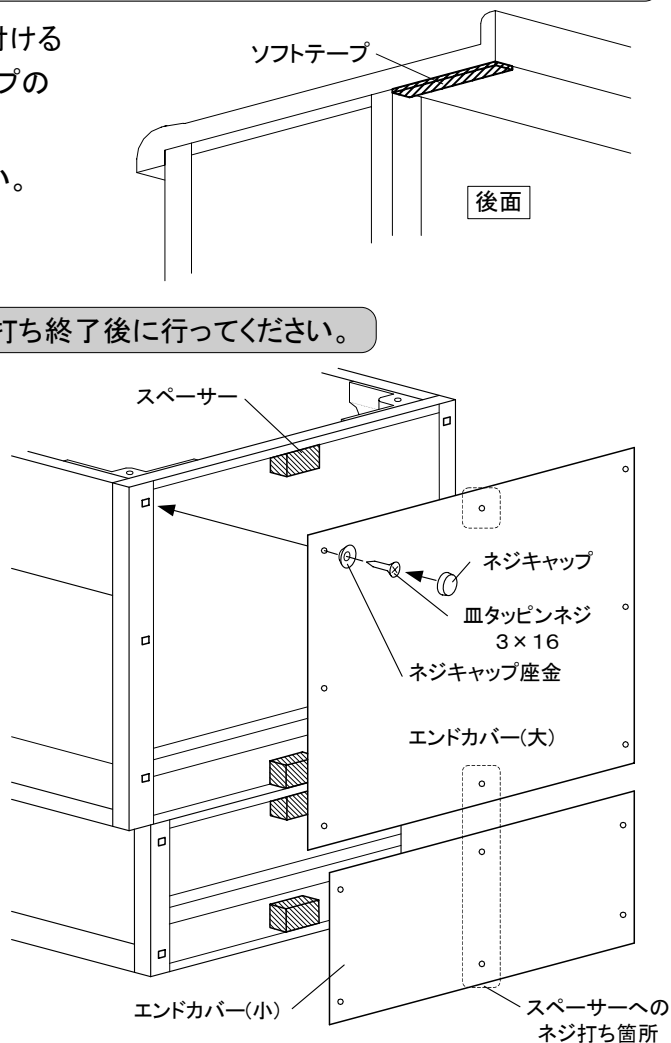
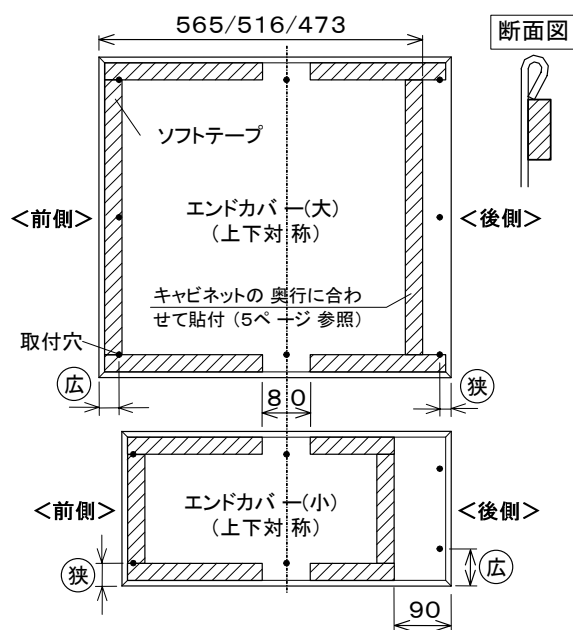
⑤エンドカバーの裏面にソフトテープを貼付けてください。

⑥エンドカバー(小)を取付けてください。

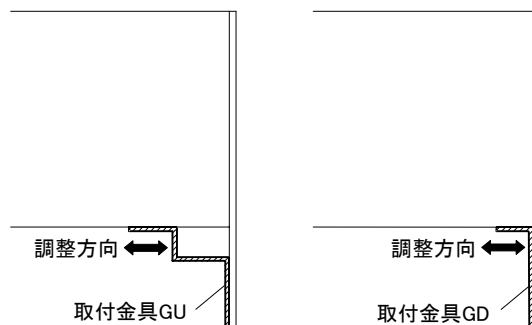
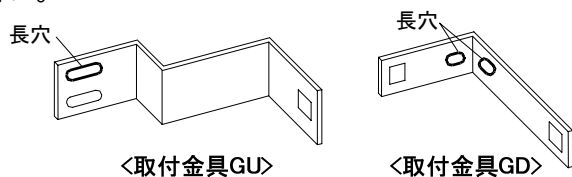
⑦エンドカバー(大)を取付けてください。

注)スペーサーへのネジ打ちは、樹脂ナットへのネジ打ち終了後に行ってください。

⑧ネジキャップを取付けてください。

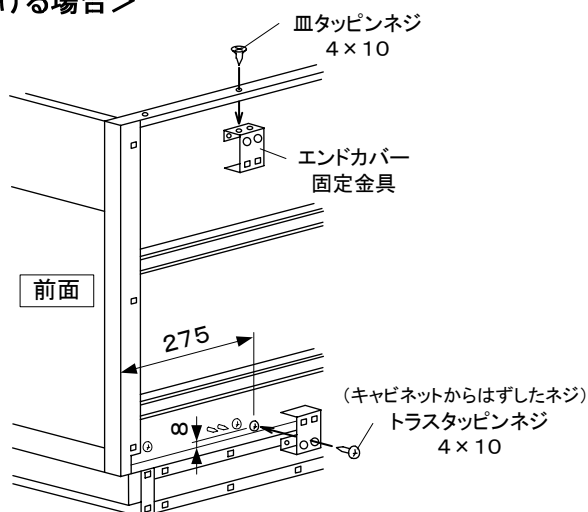


⑨エンドカバーの後部に反りが発生した場合は、取付金具の長穴を利用して反りを矯正してください。



＜シンク下食洗キャビネット(F-RR～)にエンドカバーを取付ける場合＞

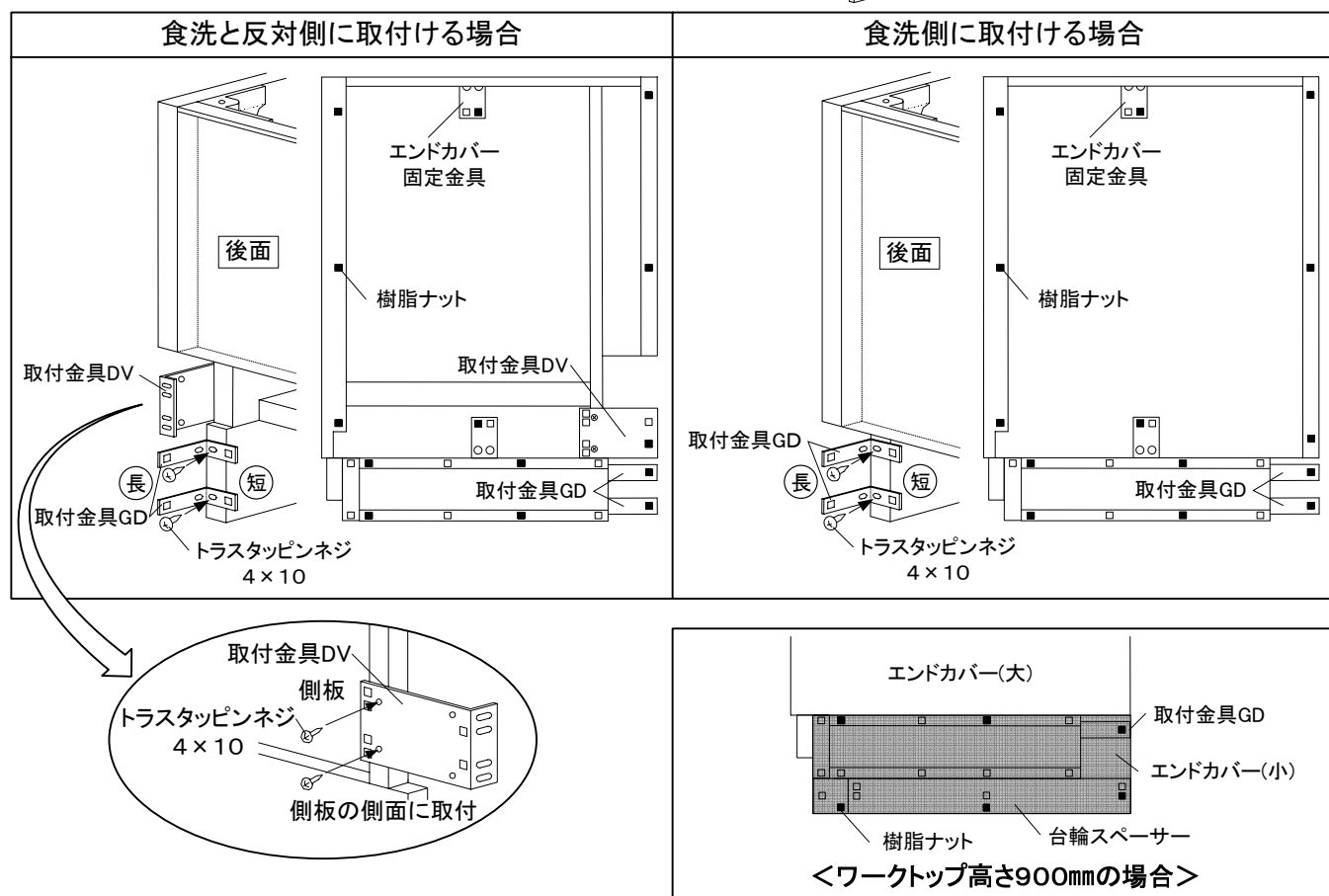
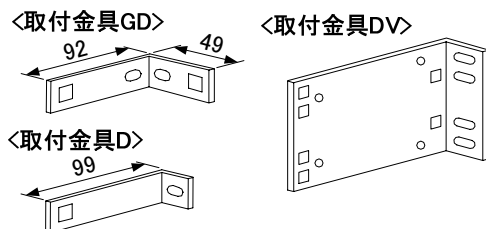
①側板の上部と下部に、エンドカバー取付金具を取付けてください。



②キャビネット後部に取付金具D・GD・DVを取付けてください。

注)取付金具は3種類あります。また取付金具GDは2方向に取付が可能なので、種類や取付方向に注意してください。

③キャビネットおよび取付金具に樹脂ナットを取付けてください。

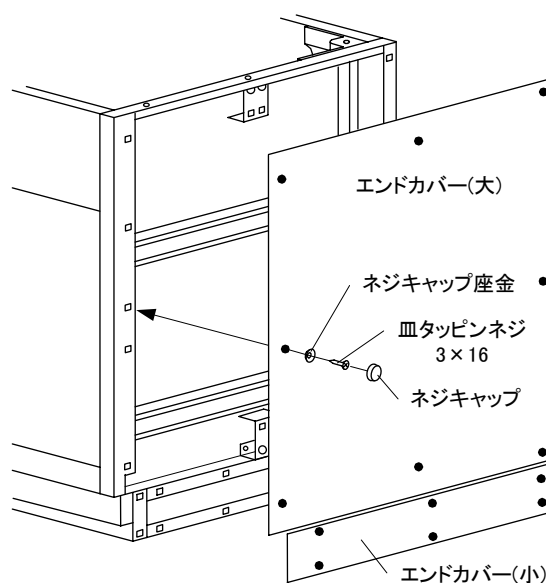
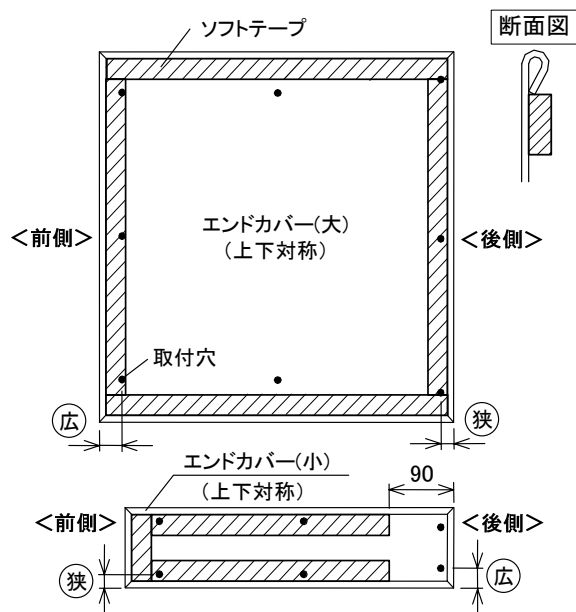


④エンドカバーの裏面にソフトテープを貼付けてください。

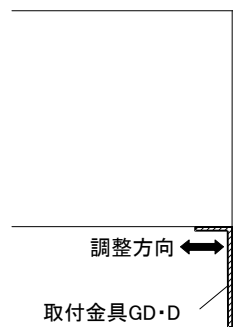
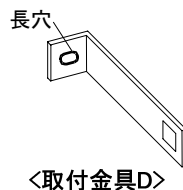
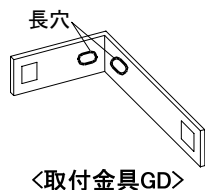
⑤エンドカバー(小)を取付けてください。

⑥エンドカバー(大)を取付けてください。

⑦ネジキャップを取付けてください。



- ⑧エンドカバーの後部に反りが発生した場合は、取付金具の長穴を利用して反りを矯正してください。



4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付

フィラーに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

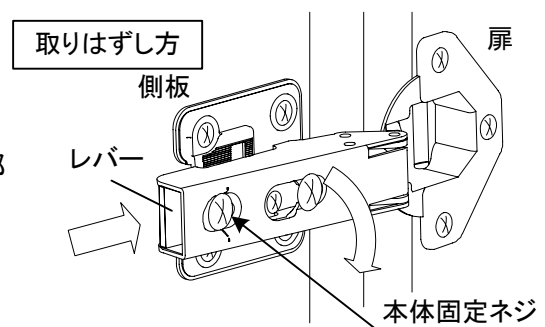
5. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 扉・引出・飾板の取りはずし】

＜扉＞

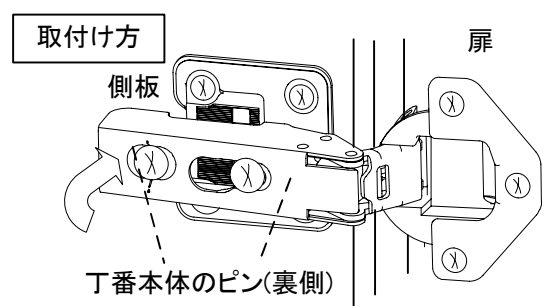
①取りはずし方

丁番プレート後部のレバーを持ち上げながら丁番本体前部を引き上げると、丁番本体が丁番プレートからはずれます。
※扉を全開して上記作業を行うと簡単にはずれます。



②取付け方

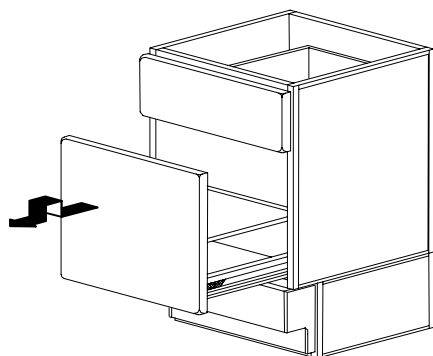
丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込んでください。



＜引出(ソフトクローズタイプの場合)＞

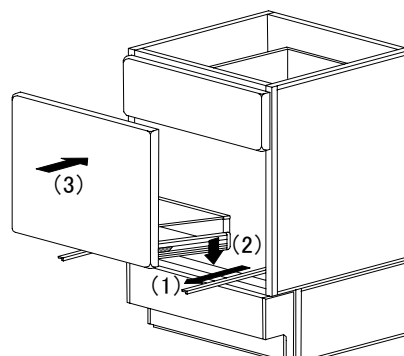
①取りはずし方

全開にした状態で、少し持ち上げてロックを解除してから手前に引き抜いてください。



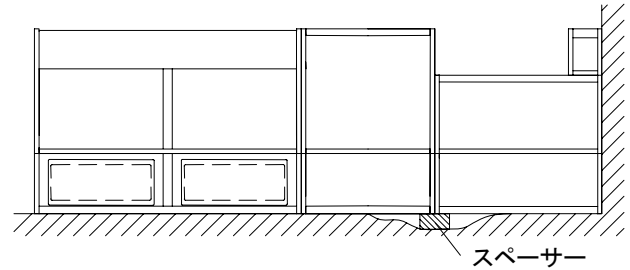
②取付け方

レールを手前に引き出し、その上に引出をのせて奥まで押し込んでください。



【2. 床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【3. 側板カバーの貼付】

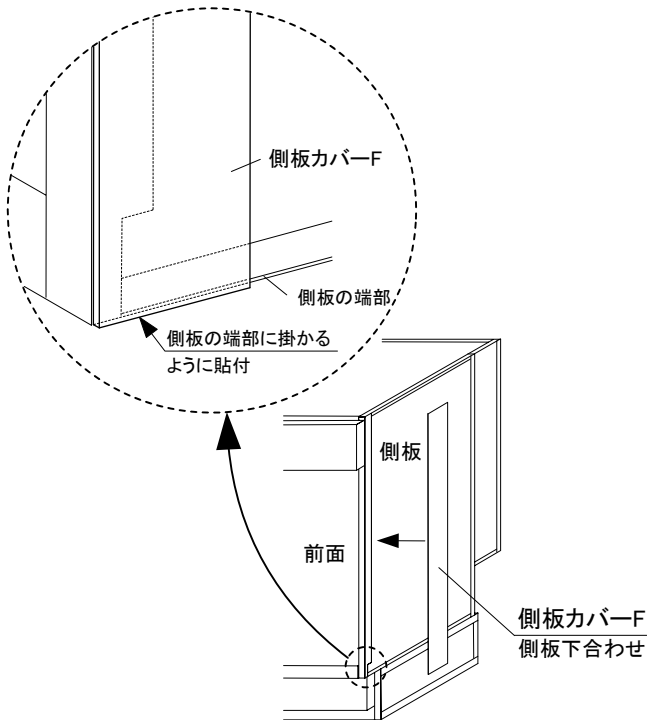
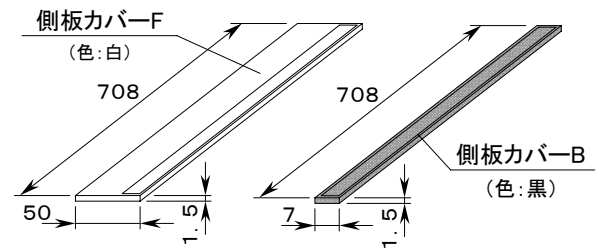
シンク下食洗キャビネット(F-RR～)に隣接するキャビネットの台輪部の引出をあげると、シンク下食洗キャビネットの側面部が露出します。

その側面部を化粧するため、側板カバーを貼付けてください。

注)側板カバーは寸法・色違いで2種類あります。

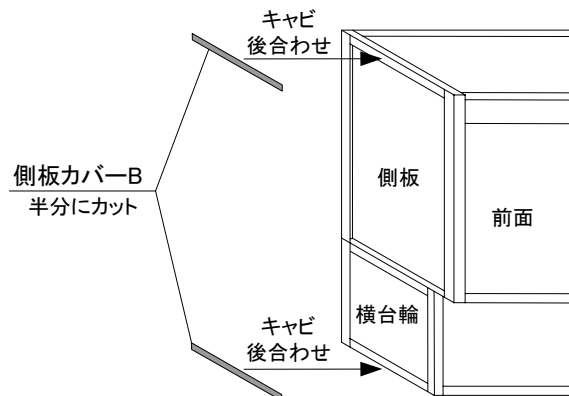
下表を参照して使い分けてください。

種類	幅寸法	色	使用箇所
側板カバーF	50mm	白	キャビネット前側
側板カバーB	7mm	黒	キャビネット後側



〔シンク下食洗キャビネット側〕

注)後側に貼付ける側板カバーBは半分にカットして、隣接するキャビネットに貼付けてください。

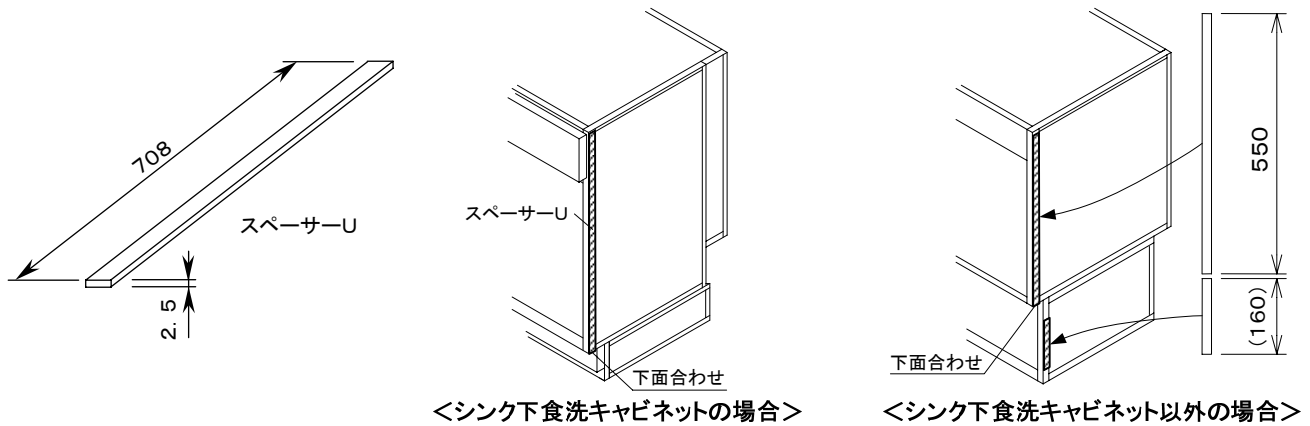


〔隣接するキャビネット側〕

【4. スペーサーU(間口調整用)の貼付】

仮置きしたキャビネット間口(エンドカバー、エンドパネル、フィラーを含む)を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサーU(t2. 5mm)をキャビネットに貼付けます。

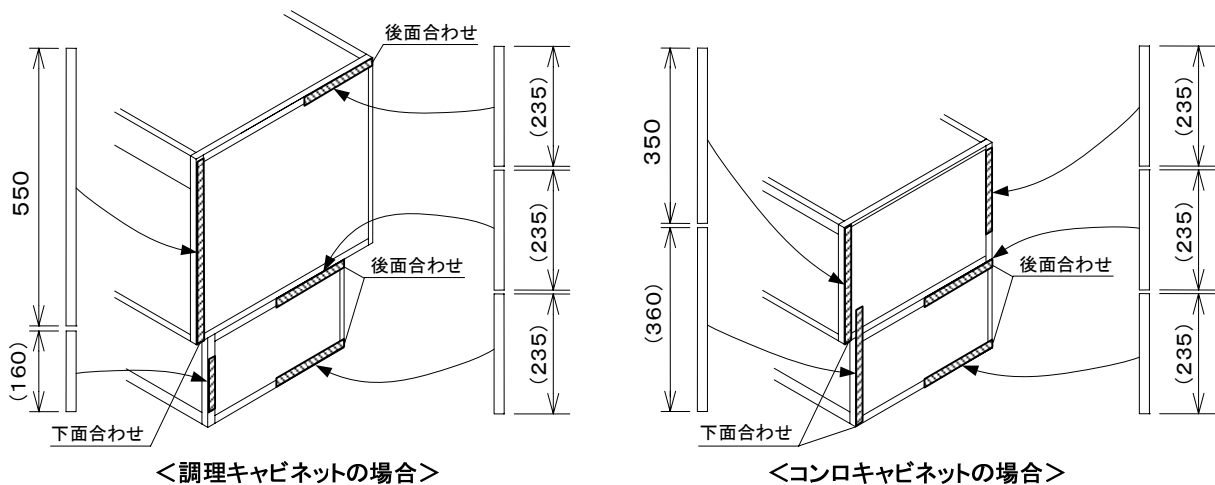
- ① クローズ側のセットエンドの側面に、1枚(前側のみ)貼付けてください。
(シンク下食洗キャビネット以外の場合は、カットして貼付けてください。)



- ② ①でも足りない場合は、2枚をカットしてキャビネット間の側面に貼付けてください。

注) ●食器洗い乾燥機と隣接する箇所には貼付けないでください。

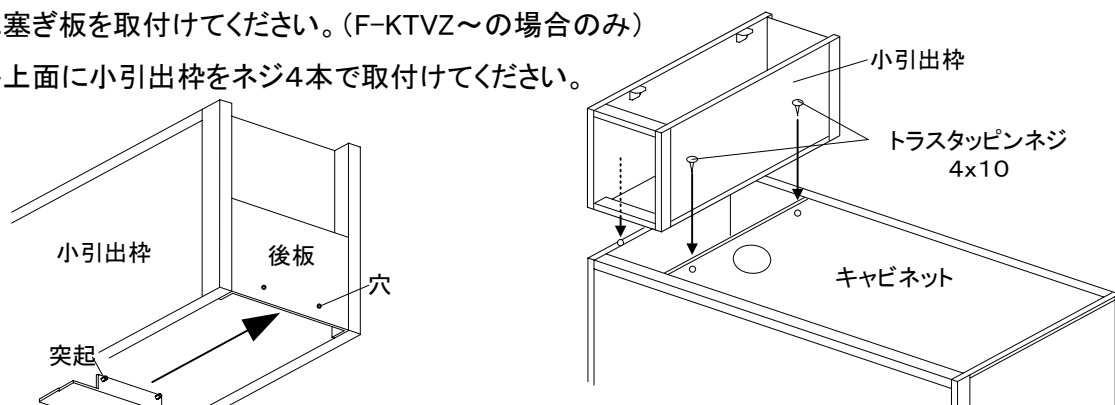
- コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。
- シンクキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、他のキャビネット側に貼付けてください。



6. ベースキャビネットの設置

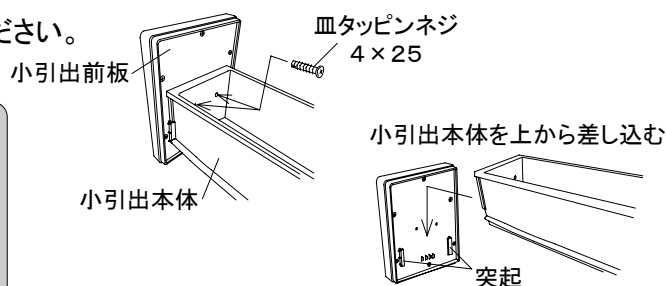
【1. コンロキャビネットの組立】

- ①小引出枠に塞ぎ板を取付けてください。(F-KTVZ~の場合のみ)
- ②キャビネット上面に小引出枠をネジ4本で取付けてください。



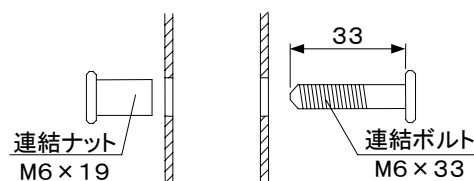
- ③小引出本体を小引出前板にネジ2本で固定してください。
(小引出付の60間口の場合のみ)

注) ●ネジを強く締めすぎると、ネジがきかなくなるおそれがあります。
●小引出前板に突起がある場合は、上から差し込んでから固定してください。



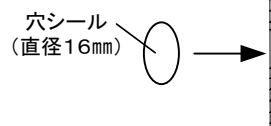
【2. キャビネットの連結】

- ①キャビネットの側板および横台輪の連結穴より、連結ボルト連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。

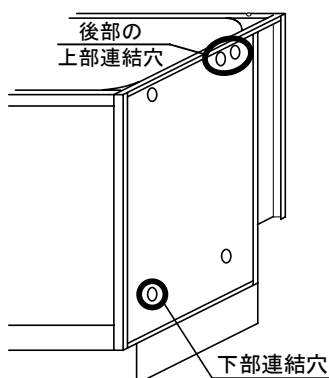


- ②連結後、使用していない下部連結穴には穴シールを貼付けてください。

注) 台輪部への穴シールの貼付は不要です。



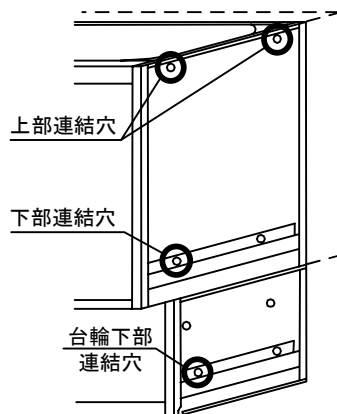
- 注) ●下部の連結はキャビネット間にスキ間があかないようにするために行ないます。
連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。
強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出が脱輪したり引出の開閉が重くなるおそれがあります。
- 電気ドライバーは使用しないでください。
 - 設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。
 - 後部の上部連結穴は、穴が2箇所開いている場合があります。
連結するキャビネットに合う位置で連結してください。
 - シンク下食洗キャビネットの場合、レールとの干渉を避けるため、下部の連結はシンクキャビネット側に連結ナットを使用してください。



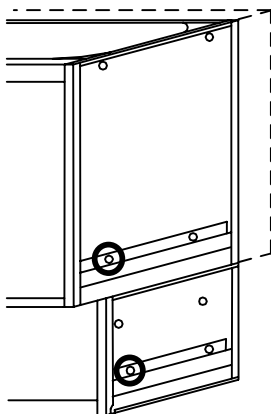
●シンク下食洗キャビネットの下部連結

連結ナットをシンクキャビネット側に使用した場合	連結ボルトをシンクキャビネット側に使用した場合

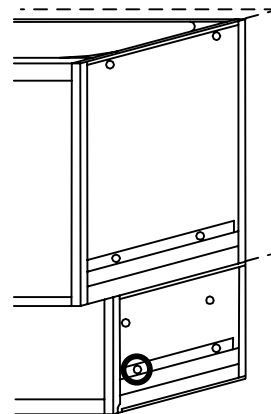
<シンク下食洗キャビネット以外との連結の場合>



〔シンクキャビネットとの連結〕

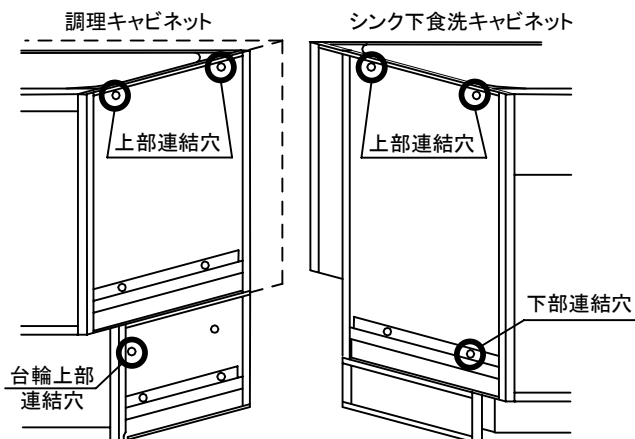


〔コンロキャビネットとの連結〕

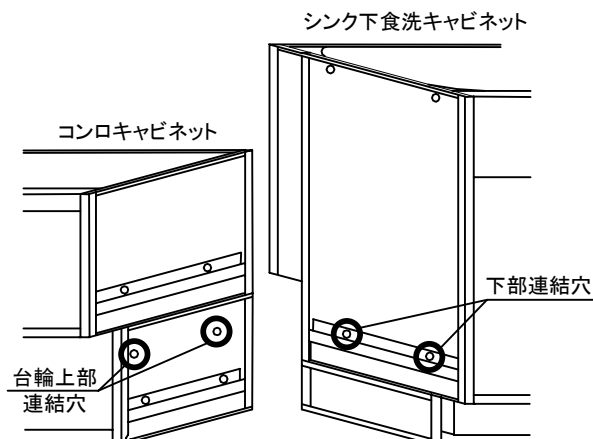


〔食器洗い乾燥機キャビネットとの連結〕

<シンク下食洗キャビネットとの連結の場合>



〔調理キャビネットとの連結〕



〔コンロキャビネットとの連結〕

【3. キャビネットの固定】

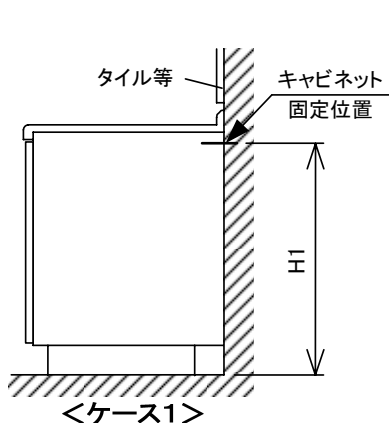
<奥行565mmキャビネットの場合>

①取付用桟木の取付(下図ケース2の場合のみ)

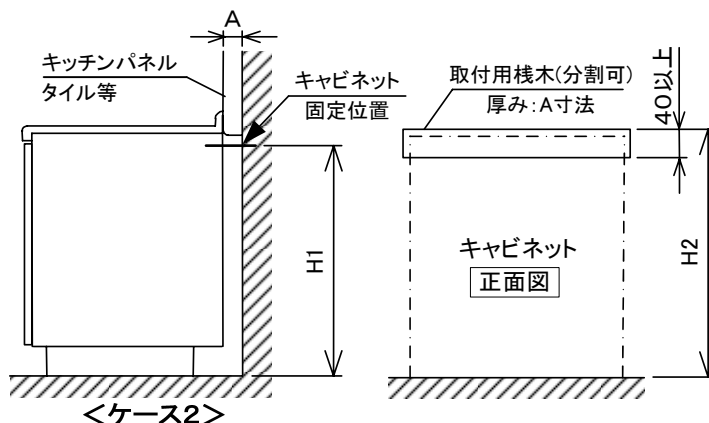
キャビネットが設置される奥壁部に取付用桟木(ケース2のA寸法に合わせた木質材:現場手配)を皿ネジ等(頭が出ないもの)で取付けてください。

	ワークトップ高さ(mm)		
	900	850	820
H1(mm)	865	815	786
H2(mm)	885	835	806

注) ●ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
●セットの外側にはみ出さないようにしてください。
●取付用桟木のネジ打ちは後壁の桟木のある所に行ってください。



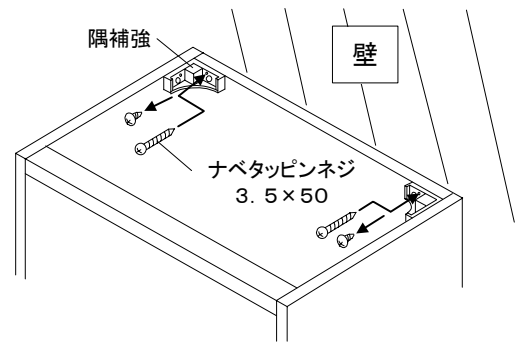
<ケース1>



<ケース2>

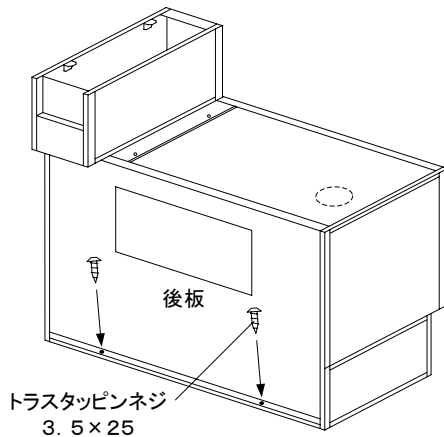
- ②キャビネット奥側の隅補強を止めているネジ2本をはずして、そのネジ穴から壁面へネジで固定してください。

注) 窓下用キッチンパネルがネジ打ち位置にかぶる場合は、キッチンパネルに穴加工して防錆処理を行ってからネジで固定してください。

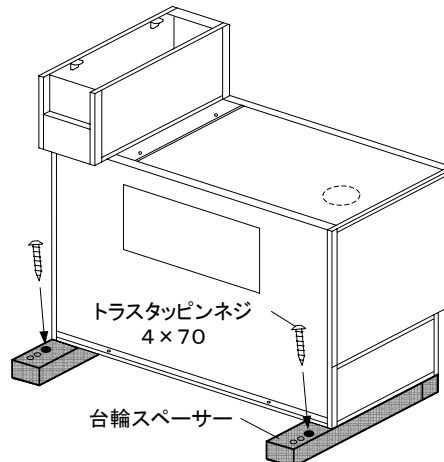


＜奥行473mmのコンロキャビネットの場合＞

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



〔ワークトップ高さ850・820mmの場合〕



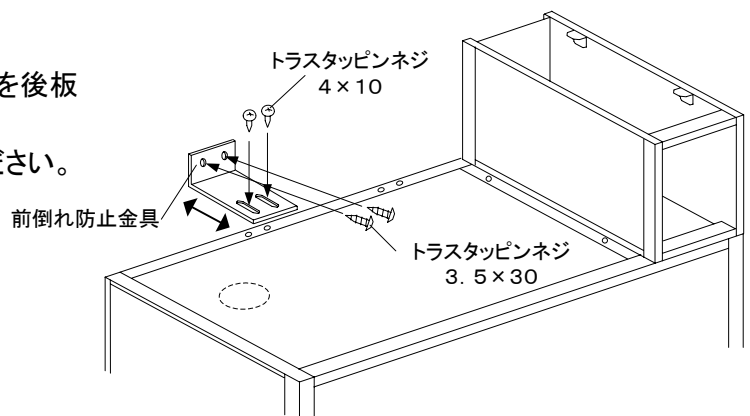
〔ワークトップ高さ900mmの場合〕

＜奥行516mmのコンロキャビネットの場合＞

- ①壁面までの寸法に合わせて、前倒れ防止金具を後板にネジで取付けてください。

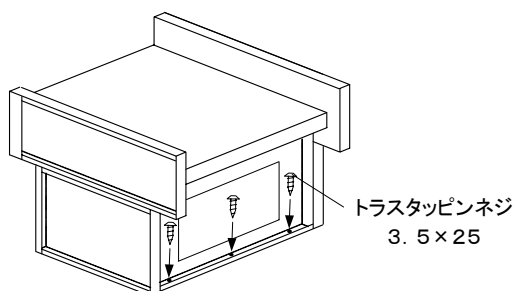
- ②前倒れ防止金具から壁面にネジで固定してください。

注) 後板には前倒れ防止金具の取付穴が、数ヶ所あいています。IHの電源等と干渉しない位置に前倒れ防止金具を取付けてください。

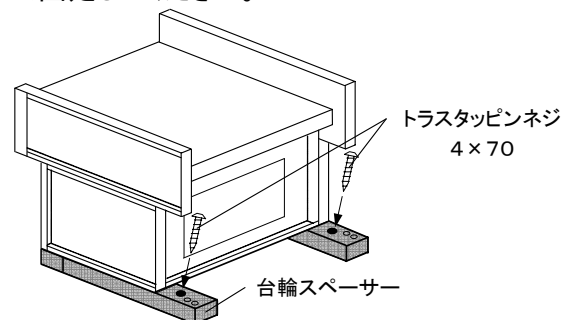


＜食器洗い乾燥機用キャビネットの場合＞

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



〔ワークトップ高さ850・820mmの場合〕

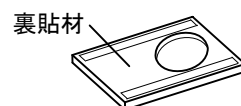
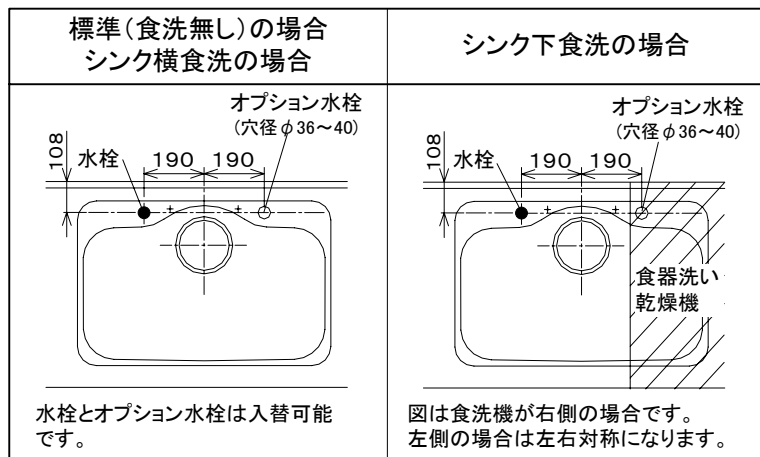


〔ワークトップ高さ900mmの場合〕

7. 水栓の取付

①水栓穴の加工

オプション水栓（アルカリ整水器、浄水器専用水栓）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。（●印：穴加工は不要 ○印：現場で穴加工）

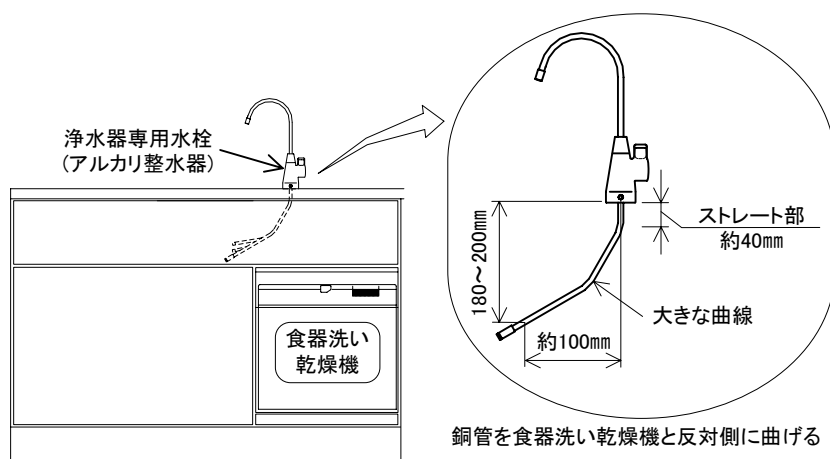


②裏貼材の貼付

加工した穴に合わせて、別売部品の裏貼材をシンクの裏面に貼付けてください。

③水栓およびオプション水栓（アルカリ整水器・浄水器専用水栓）は、それぞれに付属の取付説明書にしたがって取付けてください。

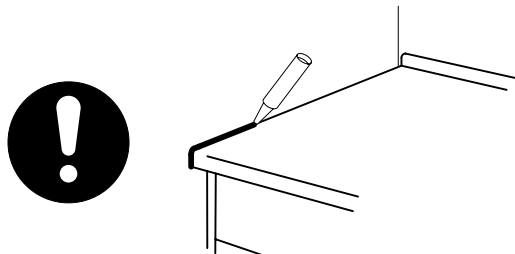
注)シンク下食洗の場合、オプション水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合があります。その場合は、水栓の取付をスムーズに行う為、取付前に水栓の銅管を曲げてください。（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損するおそれがあります。）



8. ワークトップの設置

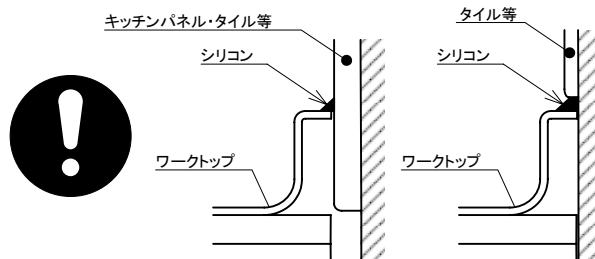
⚠ 作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合シリコンによる目地を3～4mmとってください。



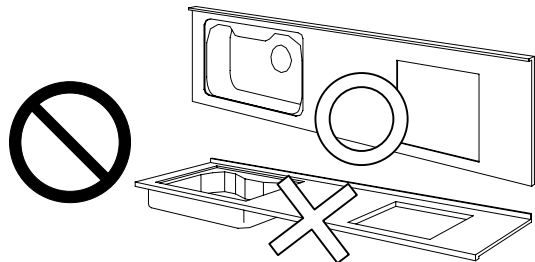
温度変化による伸縮によって、ワークトップにそりが発生する恐れがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビ発生の原因になる恐れがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与える恐れがあります。

設置中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。



製品が変形・破損する恐れがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合は、ダンボール等で養生を行ってください。



壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつく恐れがあります。

シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。



製品が変形・変色する恐れがあります。

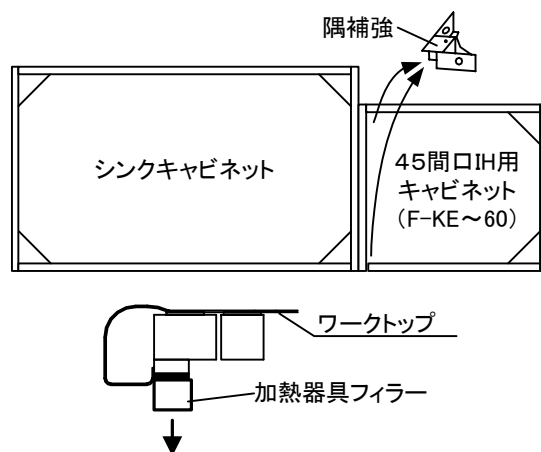
〔ステンレス製ワークトップの場合〕

【1. ワークトップ設置前の準備】

45間口IH用キャビネット(F-KE～60)の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

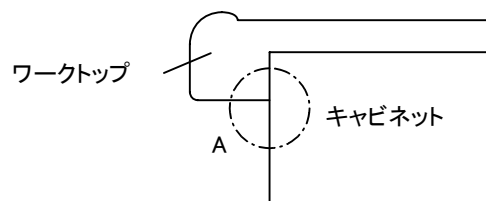
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



【2. ワークトップの仮置き】

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

注)シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。

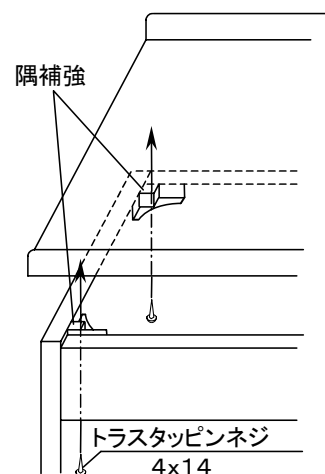
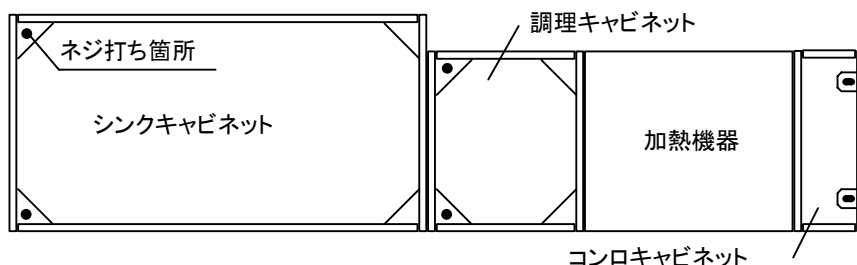


【3. ワークトップの固定】

①隅補強からの固定

キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。

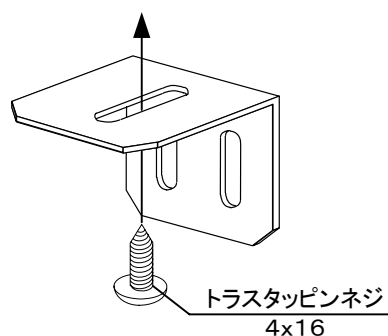
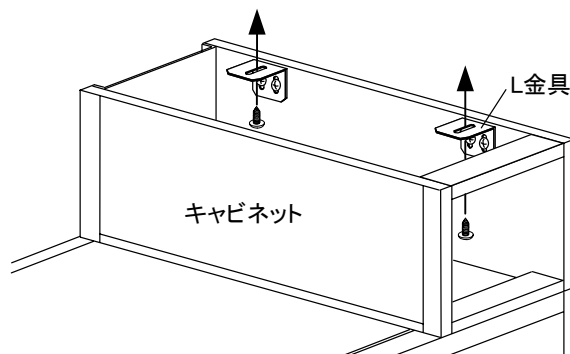
固定箇所はワークトップの両サイドと中央部です。



②L金具からの固定

＜コンロキャビネットがセットエンドにくる場合＞

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



〔人造大理石製ワークトップの場合〕

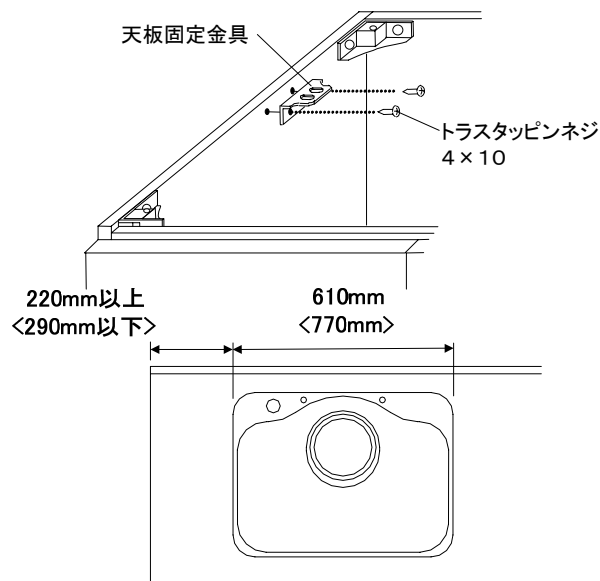
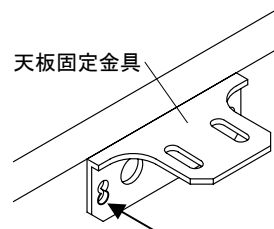
【1. ワークトップ設置前の準備】

①シンクキャビネットのセットエンド側に、天板固定金具を取付けてください。

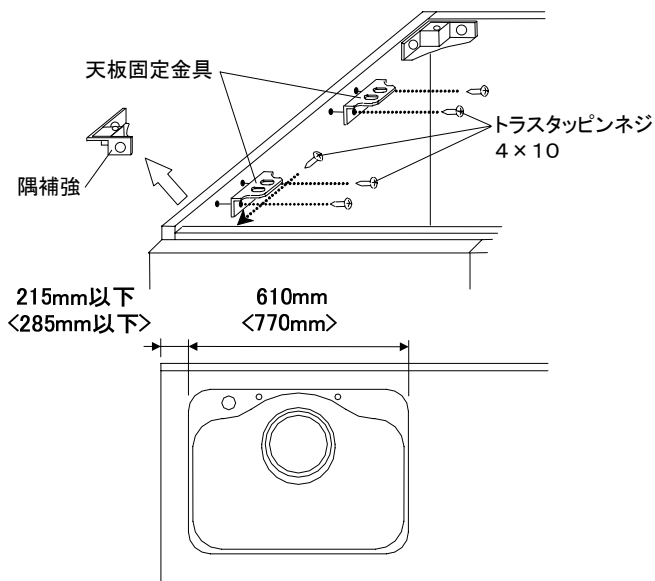
シンクがセットエンド側に寄っている場合は、前側の隅補強をはずして天板固定金具に付け替えてください。

注) ●天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。天板固定金具がキャビネット上面と合うように、下側の穴で固定してください。

●隅補強をはずした場合は、防錆のためにはずしたネジは元の位置に取付けてください。



＜シンクがセットエンド側に寄っていない場合＞

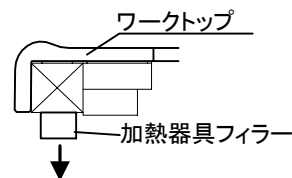
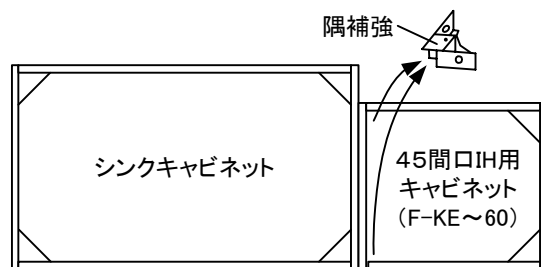


＜シンクがセットエンド側に寄っている場合＞

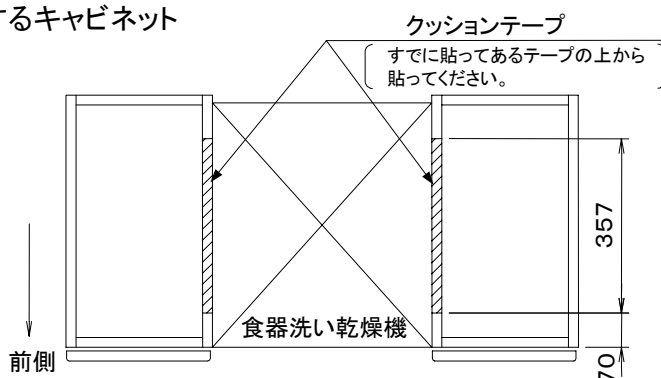
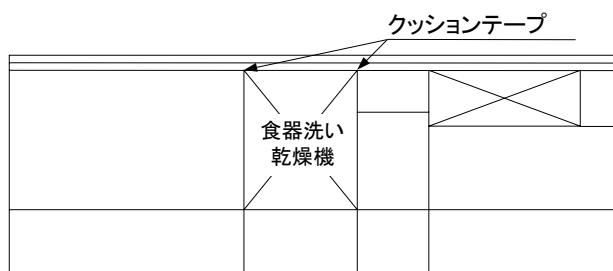
②45間口IH用キャビネット(F-KE～60)の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

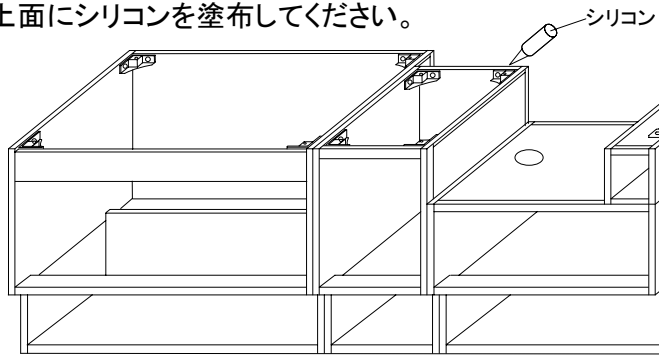
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



③食器洗い乾燥機(シンク下食洗タイプは除く)に隣接するキャビネットの側板上面にクッションテープを貼付けてください。



④隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

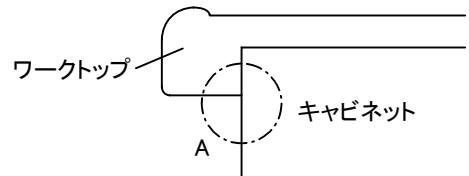


【2. ワークトップの設置】

①ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

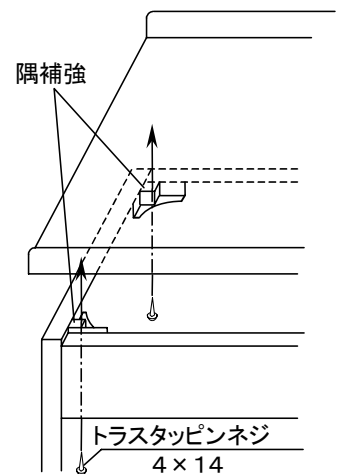
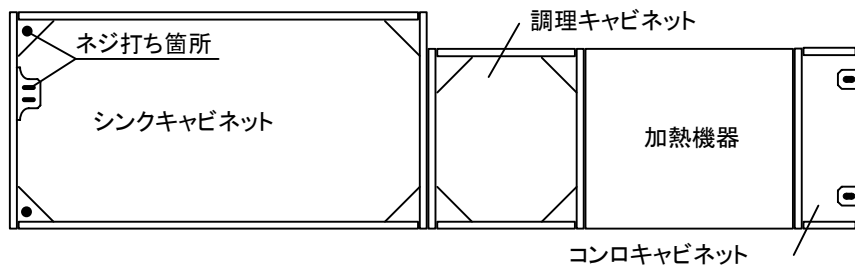
注)シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。



②ワークトップの固定

(1)隅補強からの固定

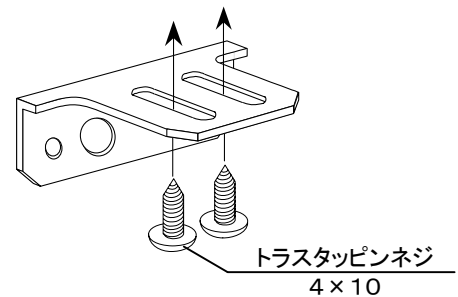
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドです。(中央部は不要)



(2)金具からの固定

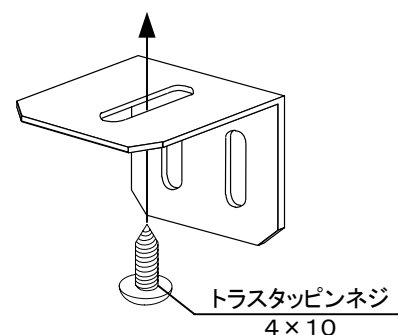
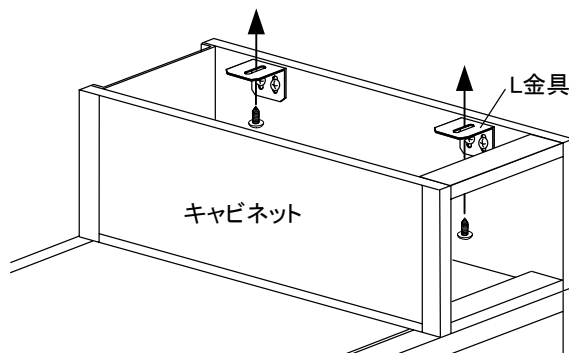
<シンクキャビネットの場合>

取付けた天板固定金具より、ワークトップを固定してください。



<コンロキャビネットの場合>

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



9. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

以下の場合は、配管・配線用の穴加工を行ってください。

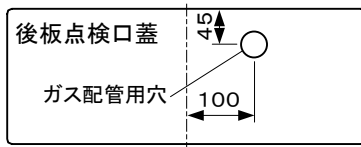
＜ガス加熱機器の場合＞

①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

注) ガス配管位置が低過ぎると、引出や収納物に干渉する恐れがあります。低すぎる場合は、配管をやりなおしてください。

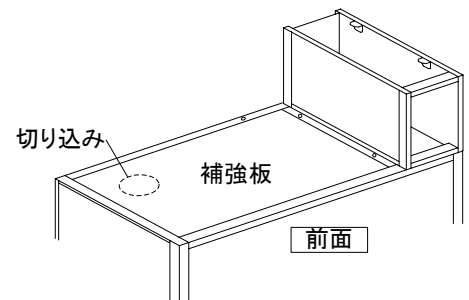
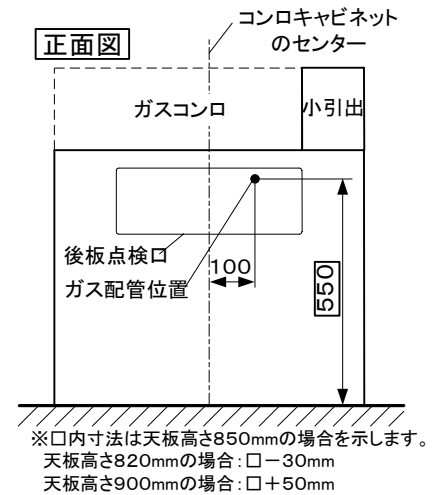
②後板点検口蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。

注) 下図の穴位置は、ガス配管が右図の位置にある場合を示しています。ガス配管位置がズれている場合は配管位置に合わせて穴を加工してください。



③後板点検口蓋の穴にガス配管を通し、後板点検口蓋を蓋の突起でキャビネットに取付けてください。

④切り込みを利用して、補強板に配管穴を加工してください。

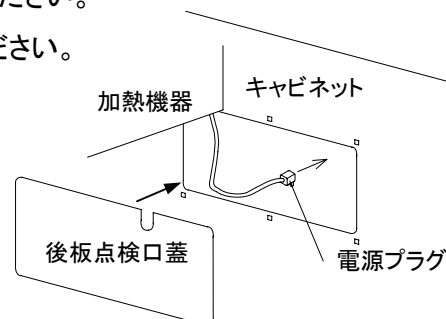
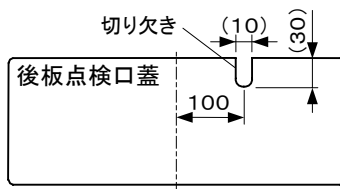


＜45間口の電気加熱機器の場合＞

①後板点検口蓋に電源コード用の切り欠きを加工してください。

②後板点検口から電源プラグをコンセントに接続してください。

③後板点検口蓋をキャビネットに取付けてください。



10. 食器洗い乾燥機の設置

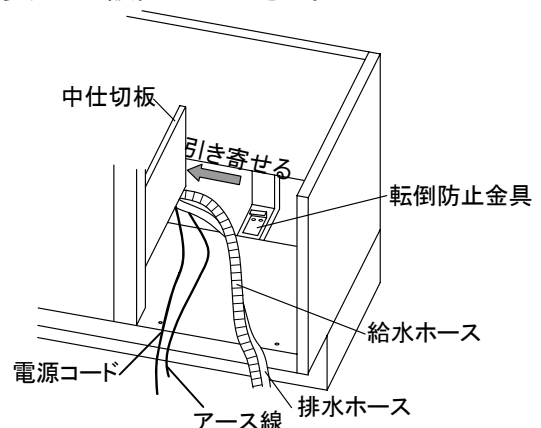
食器洗い乾燥機をシンク下に設置する場合に、「食器洗い乾燥機の設置説明書」の記載内容と異なる部分のみを記載しています。

記載内容以外については「食器洗い乾燥機の設置説明書」を参照して設置してください。

【1. 本体のビルトイン】

給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を
全て中仕切板の下を通して引き寄せてください。

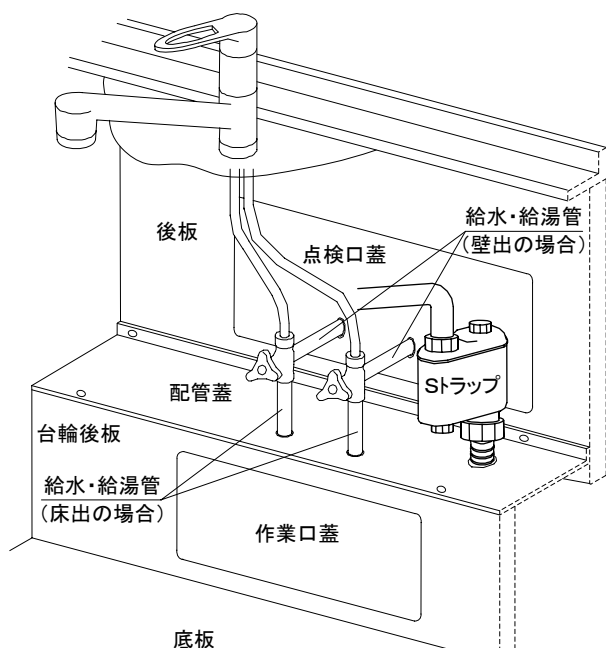
注) 食器洗い乾燥機を押込む時、排水ホースが折れる、または電源コード・アース線等が転倒防止金具にかみ込むのを防止するため、これらを少しずつ引き寄せながら設置作業を行ってください。



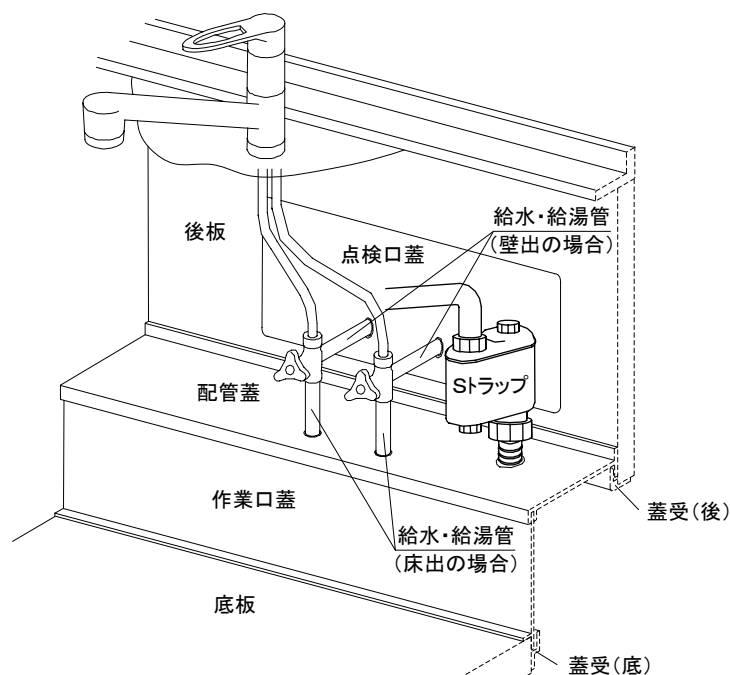
11. 配管蓋・点検口蓋の穴加工

配管蓋・点検口蓋には、給水・給湯管、排水管引き込み用の穴加工が必要になります。

<配管完成図>



<F-RN~の場合>

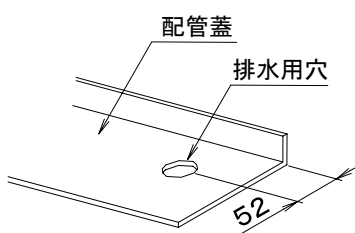


<F-RR~の場合>

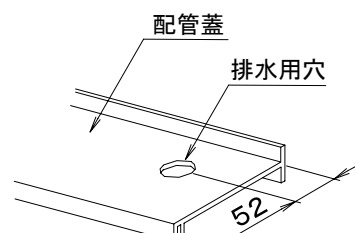
【1. 排水管用の穴加工】

配管蓋に排水用の穴を加工してください。

- ・穴径 排水パイプで接続する場合: $\phi 38$ 程度
直管で接続する場合 : $\phi 50 \sim \phi 60$
- ・奥行位置: 後側より52mm
- ・間口位置: シンク排水口からWmm

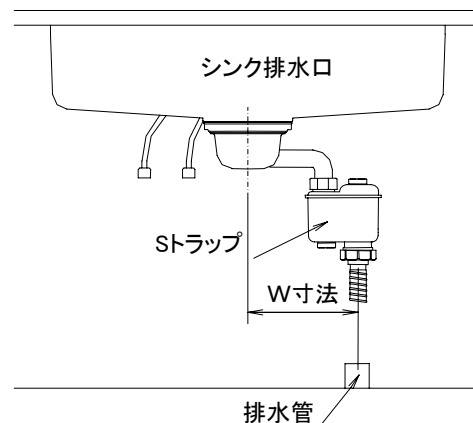


<F-RN~の場合>



<F-RR~の場合>

シンク	ノーマルタイプ <F-RN~>		シンク下食洗タイプ <F-RR~>	
	W寸法	向き	W寸法	向き
ZM/ZS	130	加熱機器側	285	食洗と反対側



注) 排水管の位置が上表と大きくズれている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。
移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。

- ・引出や収納物と干渉しないように、ストラップを配置できるかどうか。
- ・オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。

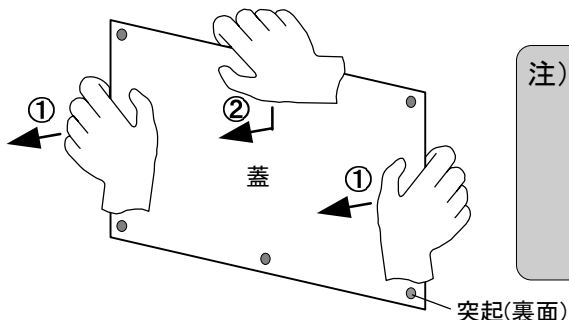
【2. 給水・給湯管引き込み用穴の加工】

①配管蓋または後板の点検口蓋に、給水・給湯管引き込み用の穴を加工してください。

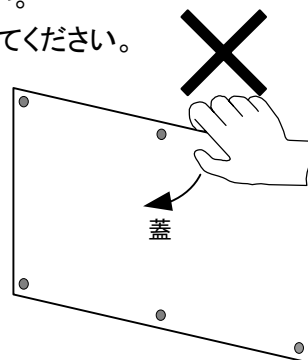
点検口蓋・作業口蓋は、蓋の突起でキャビネットに取付けられていますので、以下の要領ではずしてください。

①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。

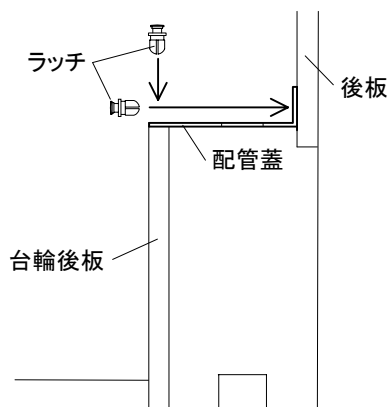
②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いてはずしてください。



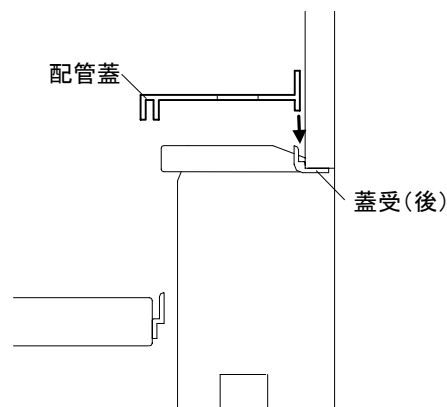
注) 右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



②配管蓋を取付けてください。



＜F-RN～の場合＞
ラッチで後板・台輪後板に取付

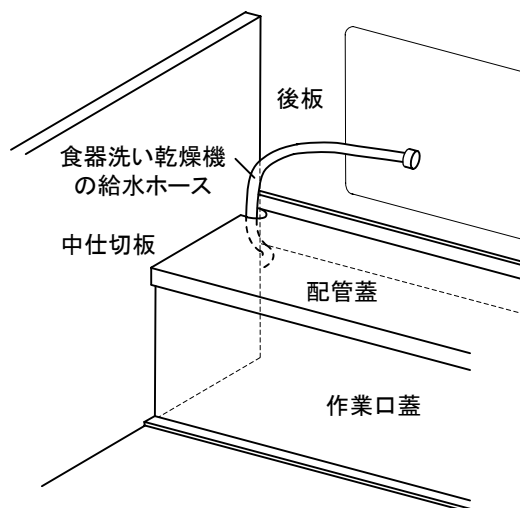
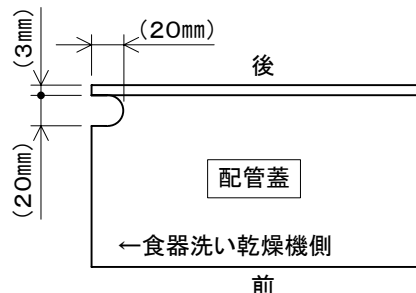


＜F-RR～の場合＞
蓋受(後)に引っ掛けて取付

【3. 食器洗い乾燥機の給水ホース用の配管蓋の加工】

シンク下食洗タイプの場合は、配管蓋に食器洗い乾燥機の給水ホース用の切り欠きを加工してください。

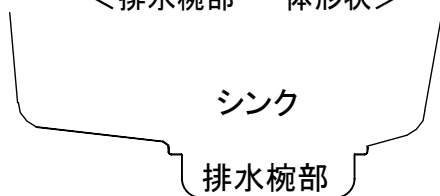
給水ホースは中仕切板の後を通して庫内に引き込み、配管蓋を取付ける際に切り欠きを通してください。



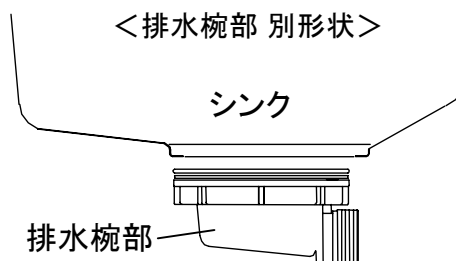
12. 排水部品の取付

排水口部の形状により、取付方法が異なります。形状を確認の上、該当する取付方法を参照してください。

＜排水腕部 一体形状＞



＜排水腕部 別形状＞



【1. 排水エルボの切断】

排水エルボを所定の長さに切断してください。

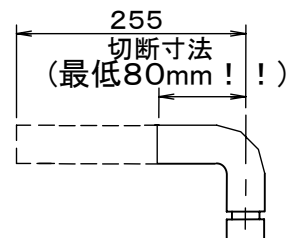
切断寸法はキャビネットの種類によって異なりますので、注意してください。

キャビネット	切断寸法	
	排水腕部 一体形状	排水腕部 別形状
F-RN～	190	80
F-RR～	210	175

注) 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて配管蓋に穴を加工した場合、排水エルボの切断は現場合わせで行ってください。

注) 切断寸法は、最低80mmとしてください。

80mmより短くするとエルボの抜けや、漏水の原因となります。



【2. 排水器具・排水エルボ・ストラップの取付・排水パイプの取付】

＜排水腕部 一体形状の場合＞

①取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注) 排水栓の取付部に異物が残っていると水漏れのおそれがあります。

②排水栓にスリップワッシャおよびパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注) ●差し込む順序が間違っていないか確認してください。

●排水栓の取付部のスキが、なるべく均一になるように取付けてください。

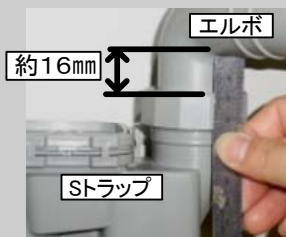
③下からパッキンをはさみ、排水器具を仮固定してください。

④排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注) 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(A部詳細)

⑤排水エルボとストラップを接続してください。

注) ストラップへの差し込み量が浅くならないように注意してください。



⑥排水パイプを配管蓋の穴に通してください。

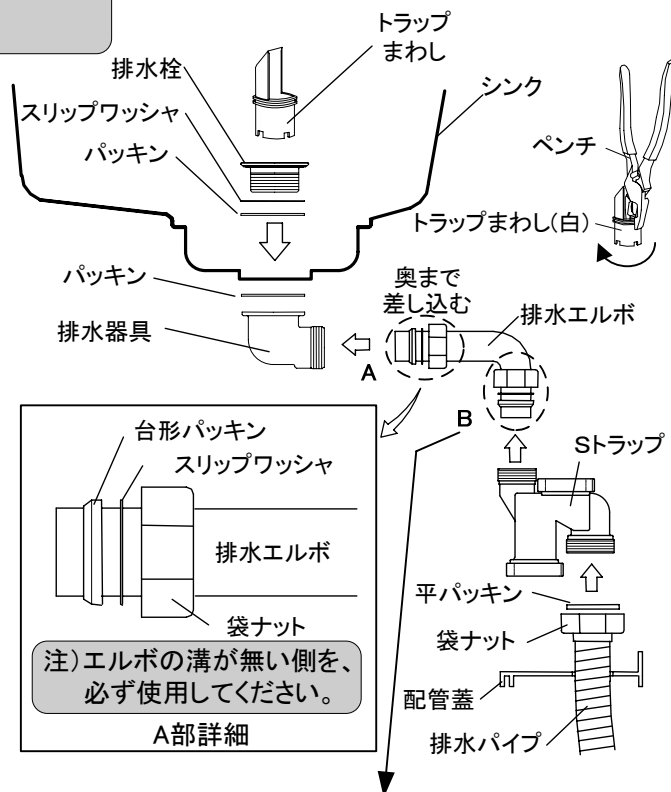
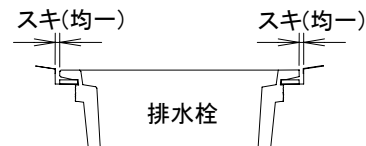
⑦排水器具に排水エルボを接続し、ストラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水器具・ストラップの向きを調節してください。

注) 排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

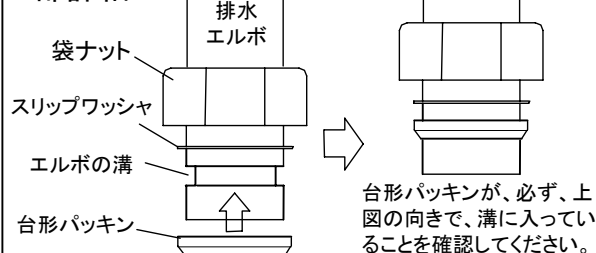
⑧排水栓の上にトラップまわしをはめ込んでください。右図のようにペンチでトラップまわしを持ち、もう一方の手でシンクの裏から排水器具を押さえて締め付けてください。

⑨ストラップに排水パイプを取付けてください。

注) ●接続完了後、排水栓と排水器具や接続部の袋ナットを再度締め付けてください。



B部詳細



注) ●向きを間違えたり、溝に確実にハマっていないと漏水の原因になります。
●必ず、B部にはエルボの溝がある側を使用してください。

＜排水桵部 別形状の場合＞

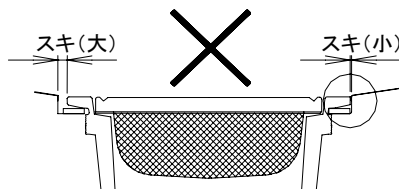
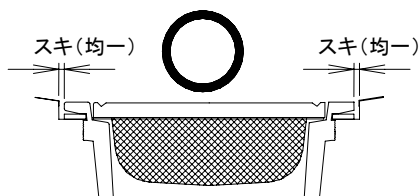
①取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注)トラップ取付部に異物が残っていると水漏れのおそれがあります。

②排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)●排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。

●排水器具の溝部にパッキンがきっちり納まっているか確認してください。(A部詳細)



シンク

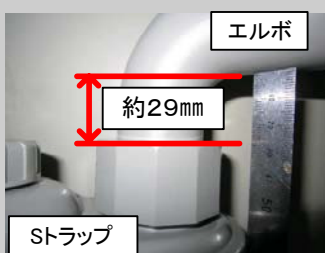
③排水器具をロックナットで仮固定してください。

④排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注)差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B・C部詳細)

⑤排水エルボとストラップを接続してください。

注)ストラップへの差し込み量が浅くならないように注意してください



⑥排水パイプを配管蓋の穴に通してください。

⑦排水器具に排水エルボを接続し、ストラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水器具・ストラップの向きを調節してください。

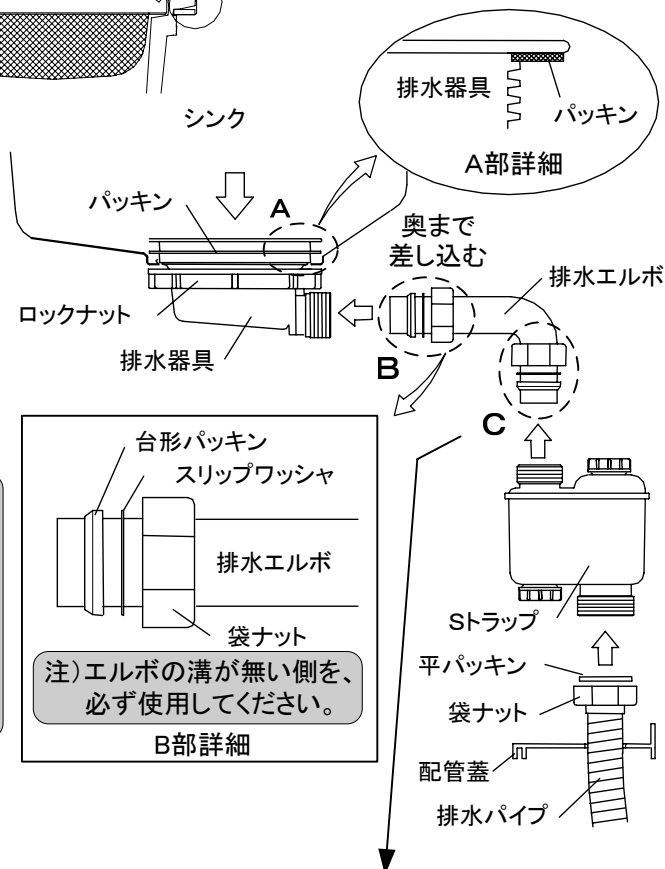
注)排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

⑧ロックナットを締め付けてください。

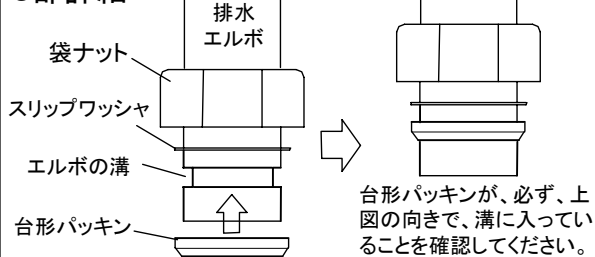
⑨ストラップに排水パイプを取付けてください。

注)排水パイプの平パッキンをそのまま使用してください。

⑩接続完了後、排水器具のロックナットと接続部の袋ナットを再度締め付けてください。



C部詳細



注)●向きを間違えたり、溝に確実にハマっていないと漏水の原因になります。
●必ず、C部にはエルボの溝がある側を使用してください。

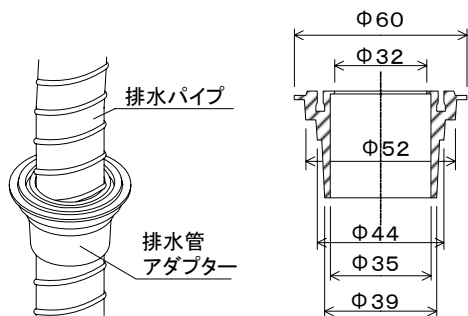
13. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

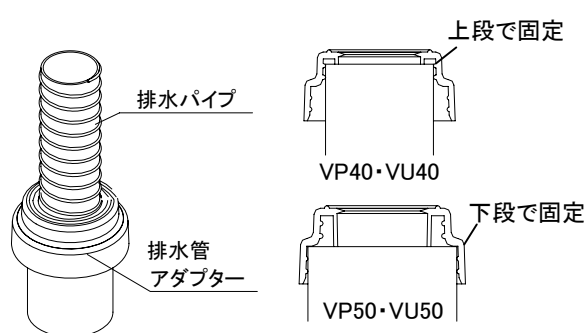
①排水管アダプターを排水パイプに挿入してください。

②排水管アダプターを排水管に差し込み、隙間のないように完全にシリコン等でシールしてください。

注)排水管アダプターは、2種類あります。形状を確認の上、下記を参照して作業してください。



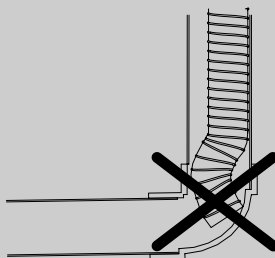
VP-40(内径φ40)、VU-40(内径φ44)、
VP-50(内径φ51)の排水管に接続可能。



VP-40、VU-40、VP-50、VU-50の排水管
に接続可能。

注)直管配管の場合は、ストラップより先は現場手配の部品で接続してください。

注)排水パイプを長いまま差し込むと、
排水不良の原因になります。
長い場合は、必ず切断してください。



14. 給水・給湯管と水栓の接続

○接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

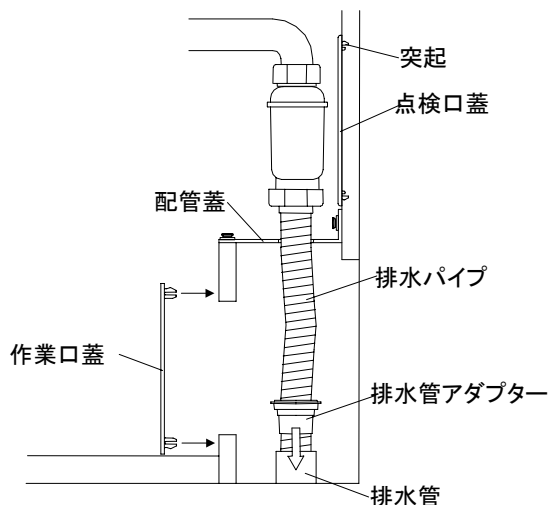
○接続工事は水栓の取付説明書にしたがって行ってください。

注)点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、22ページを参照しては
ずしてください。

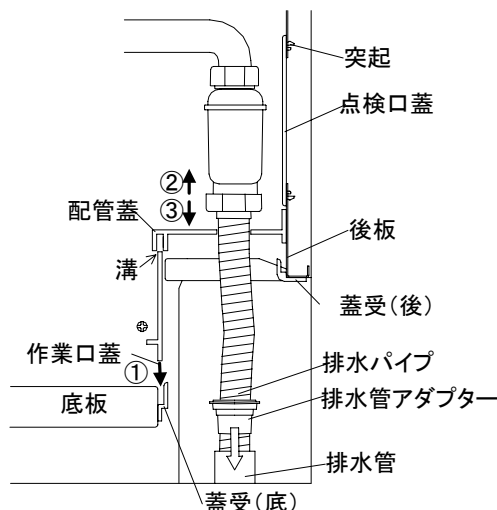
○全ての接続工事が終わったら、蓋の突起で蓋を取付けてください。

F-RRXD～の作業口蓋は、突起以外で取付けますので、以下の手順で取付けてください。

- ①作業口蓋を蓋受(底)に差し込む。
- ②配管蓋を少し持ち上げる。
- ③作業口蓋を配管蓋の溝に差し込みながら、配管蓋の後部を蓋受(後)に差し込む。



<F-RN～の場合>



<F-RR～の場合>

注)接続作業が別途工事になる場合は、点検口蓋・作業口蓋およびラッチを作業者がわかる位置に保管し
ておいてください。(取付が可能な場合は、極力取付けた状態で作業を終わるようにしてください。)

15. エンドパネルの取付

＜奥行60cmフロアキャビネット以外の場合＞

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

＜奥行60cmフロアキャビネットの場合＞

①EPモールにEPキャップDをはめ込んでください。

注) EPキャップDにはL/Rがあります。EPモールの断面に合う向きにはめ込んでください。

②EPモールの突起がパネル表面にくるようにあてがい、EPキャップDをネジで固定してください。

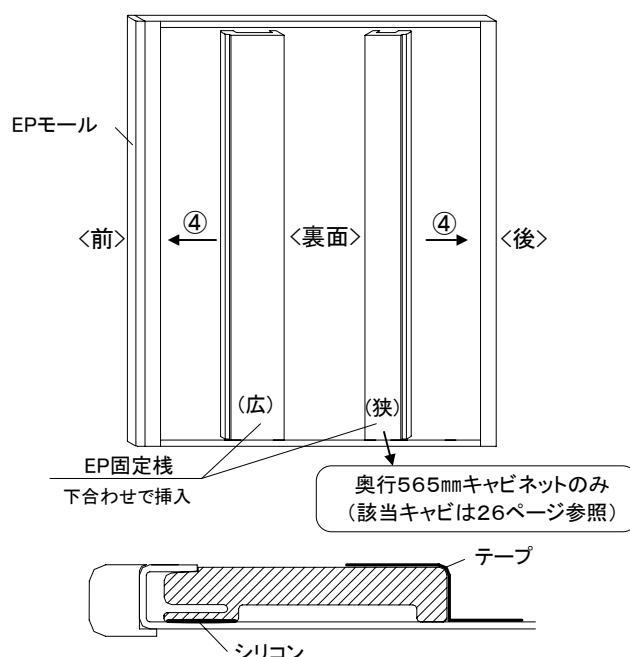
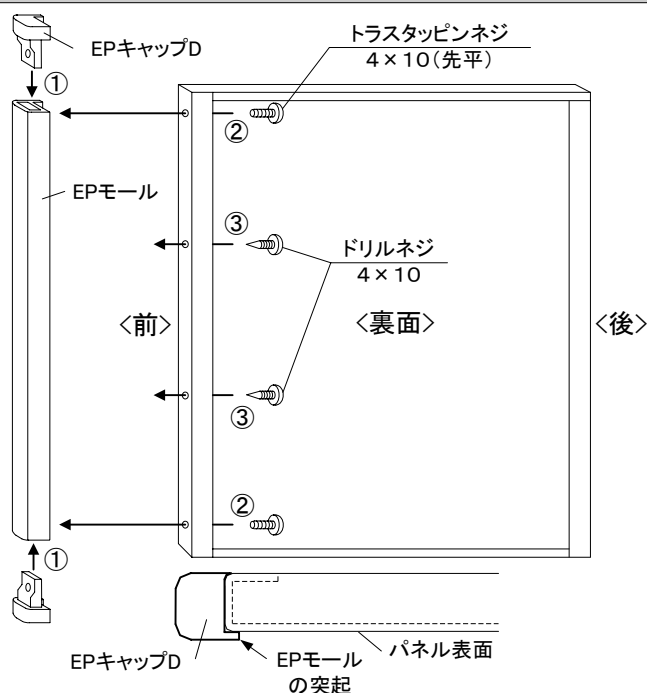
③EPモールの中央部をドリルネジで固定してください。

④EP固定棧をパネルの前後に下合わせで挿入してください。

注) ●EP固定棧は、幅の広いほうを前側に挿入してください。

●後側のEP固定棧は、奥行566mmキャビネットの場合のみ挿入してください。

●勘合が甘くてガタつく場合は、シリコンまたはテープで固定してください。

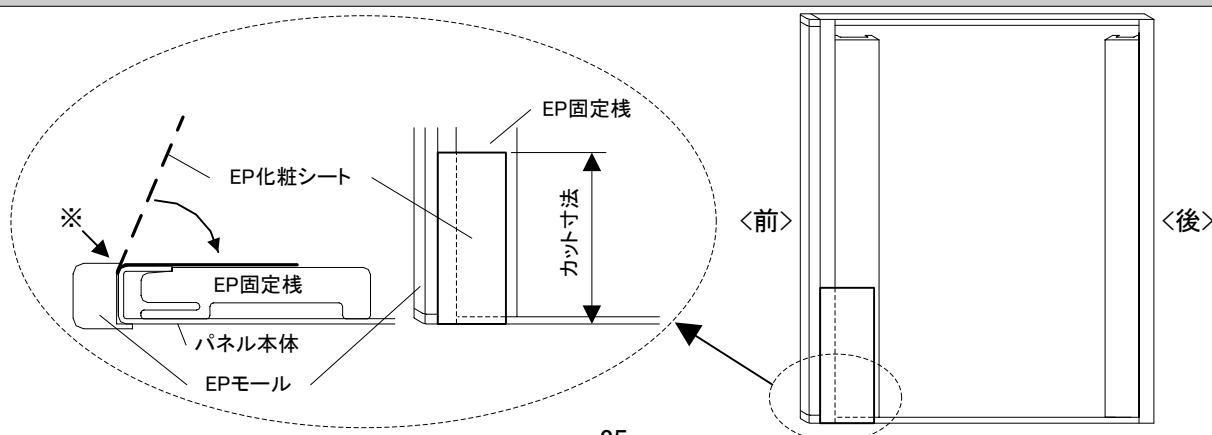


⑤下表を参照してEP化粧シートの長さをカットして、パネル前側の下部に貼付けてください。

エンドパネルを取付ける キャビネットの種類	カット寸法		
	H820	H850	H900
シンク下食洗キャビネット(F-RR～)	88	118	168
シンク下食洗キャビネット(F-RR～)以外	245	275	325

注) ●パネルは上下対称です。パネルをキャビネットの左右どちらに取付けるかを確認してから化粧シートを貼付けてください。

●EP化粧シートはパネル本体とEPモールの間に差し込み、パネル本体の角部(※)を覆うように貼付けてください。



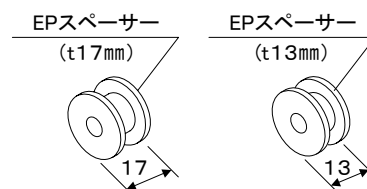
⑥キャビネットの固定箇所、穴に合わせて、EPスペーサーを貼付けてください。

注) ●固定位置はレールの種類によって異なります。

●EPスペーサーは「t17mm」と「t13mm」の2種類あります。

固定箇所に合わせて貼付けてください。

- ・側板厚み20mm : t17mm
- ・側板厚み15mm : t13mm (下図の※印の固定箇所)



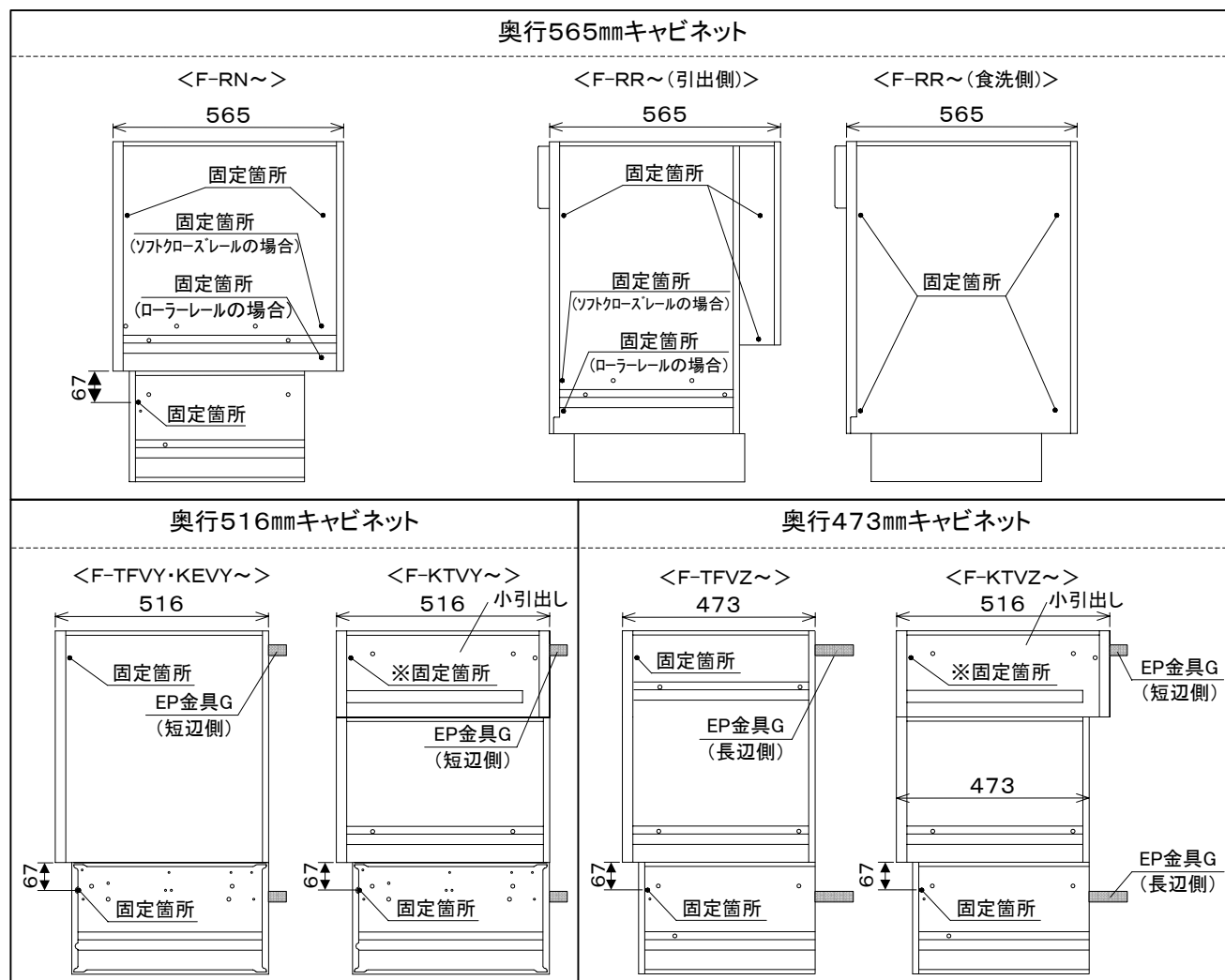
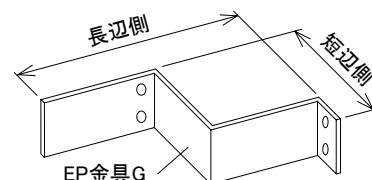
⑦奥行565mm以外のキャビネットの場合は、EP金具Gをキャビネットの後板にネジが軽くかかる程度に仮固定してください。(上下2ヶ所)

注) ●EP金具Gは2方向に取付が可能です。

取付方向に注意してください。

●奥行565mm以外のキャビネットにエンドパネルを取付ける場合は、別途「EP-XGNカナグセット」が必要です。

EP金具G等はカナグセットに同梱されています。



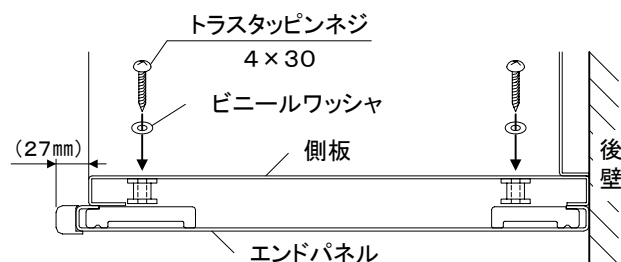
⑧以下を参照してエンドパネルをキャビネットに取付けてください。

＜奥行565mmのキャビネットの場合＞

エンドパネルを奥壁に押しつけながら、ネジで固定してください。

(エンドパネルの出代は27mm)

注) 固定ネジは30mmと25mmの2種類あります。
25mmを使用すると固定が不十分になります
ので、必ず30mmを使用してください。



＜奥行565mm以外のキャビネットの場合＞

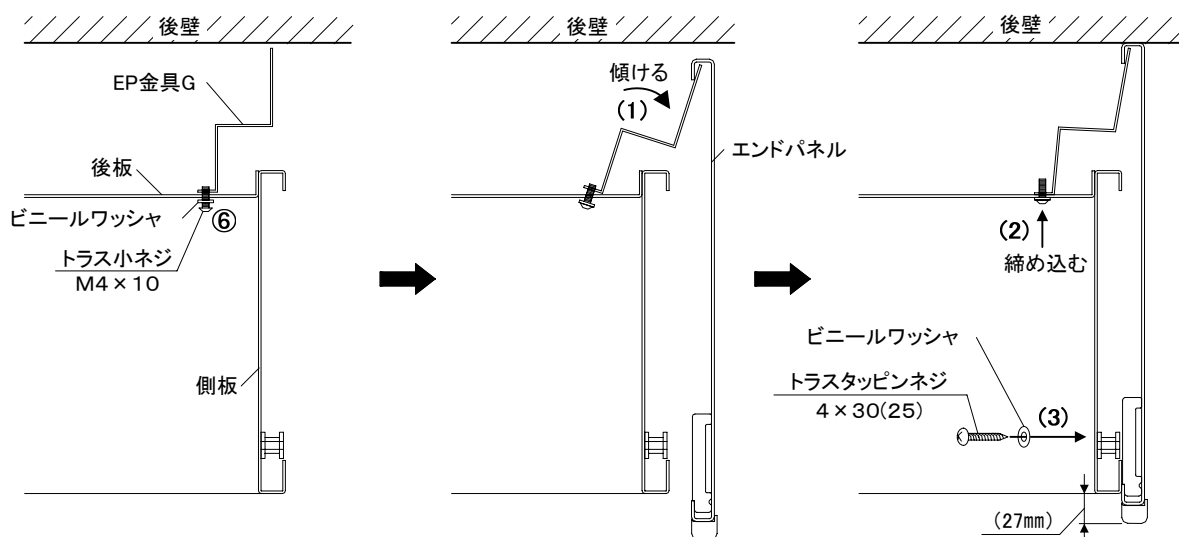
(1) EP金具Gを傾けてエンドパネル後部に引掛けてください。

(2) EP金具Gがはずれないように注意しながら、EP金具Gの固定ネジを完全に締め込んでください。

(3) エンドパネルを後壁に押しけながら、ネジで固定してください。(エンドパネルの出代は27mm)

注) 固定ネジは30mmと25mmの2種類あります。固定箇所に合わせて使用してください。

- ・側板厚み20mm : トラスタッピンネジ4×30+ビニールワッシャ
- ・側板厚み15mm : トラスタッピンネジ4×25+ビニールワッシャ



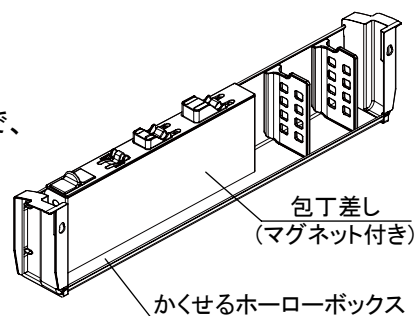
16. その他部品の取付

【1. 包丁差】

<かくせるホーローボックスタイプの場合>

かくせるホーローボックスタイプは扉裏面に付けて出荷されていますので、取付は不要です。

包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール（直径12mm）を貼付けてください。



<かくせるホーローボックスタイプ以外の場合>

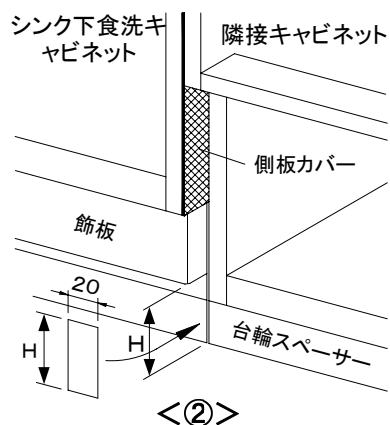
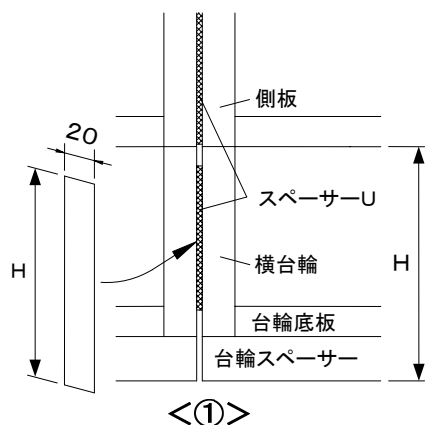
かくせるホーローボックスタイプ以外の包丁差は、扉裏面に付けて出荷されていますので、取付は不要です。

【2. 台輪テープ】

以下の部分には台輪テープをH寸法にカットして、キャビネット間の継ぎ目をふさぐように貼付けてください。

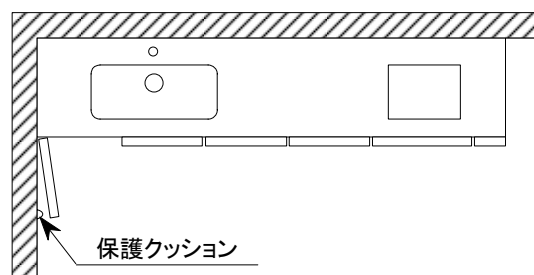
①スペーサーUを貼付けたキャビネット間

②シンク下食洗キャビネットと隣接するキャビネットの間（側板カバーを貼付けた部分）



【3. 保護クッション】

扉および引手が隣接する壁等に当たる場合は、保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



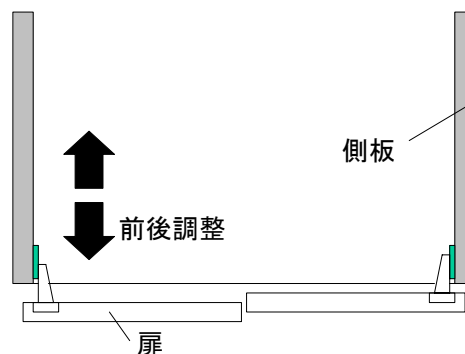
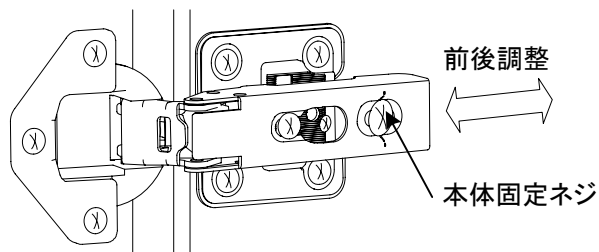
17. 扉の調整

扉の傾き、段違いが発生した場合は、次の手順で調整してください。

○扉の前後調整

本体固定ネジを緩め、丁番を移動させて前後調整してください。

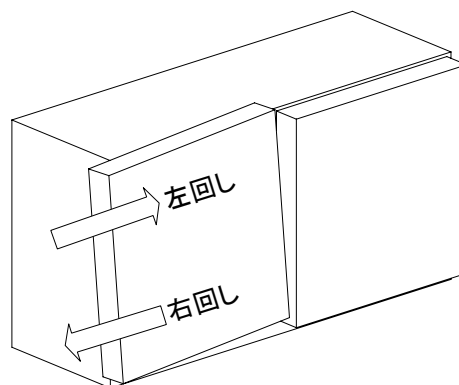
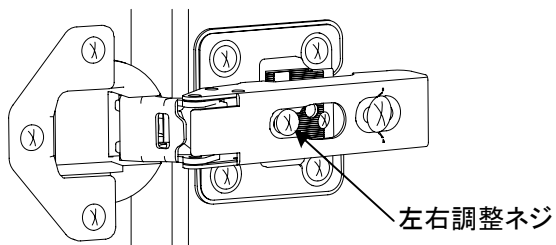
調整後は必ず本体固定ネジを締め直してください。



○扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整してください。

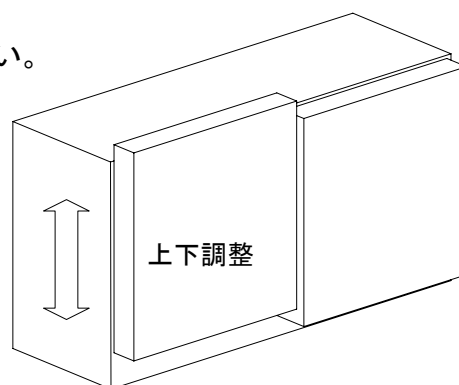
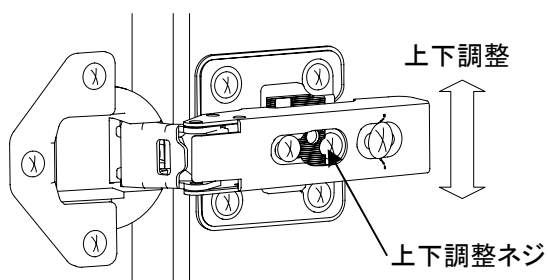
調整後、本体固定ネジが緩む場合があるので、必ず本体固定ネジを締め直してください。



○扉の上下調整

上下調整ネジを緩め、丁番を移動させて上下調整してください。

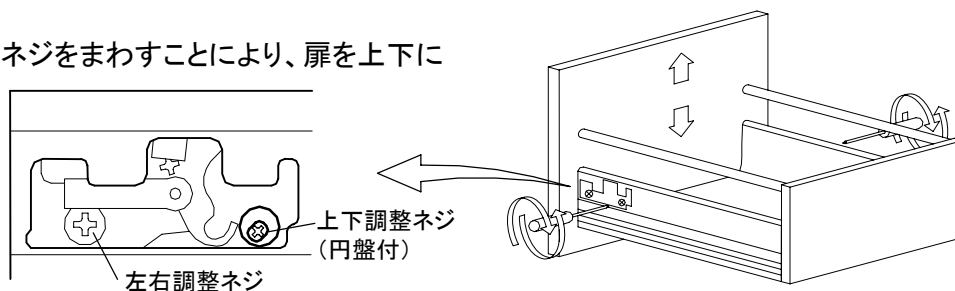
調整後は必ず上下調整ネジを締め直してください。



【2. 引出(ソフトクローズタイプの場合)】

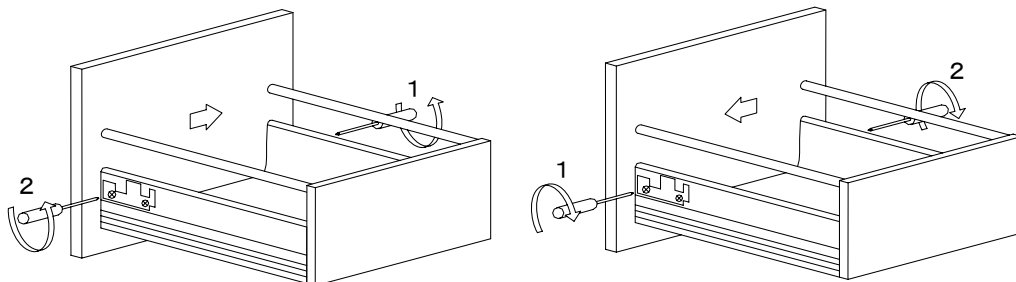
○上下調整

図のように上下調整ネジをまわすことにより、扉を上下に調整できます。



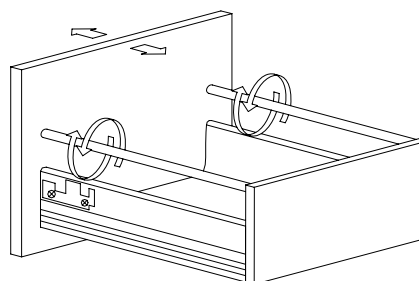
○左右調整

図の手順にしたがって左右調整ネジをまわすことにより、扉を左右に調整できます。



○傾き調整

図のように両サイドのバーをまわすことにより、扉の傾きを調整できます。



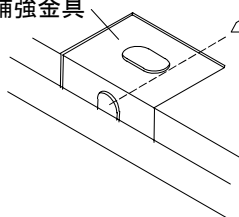
○仕上げ

各調整終了後、調整ネジ部にカバーを取付け、引出裏面より前板固定金具を用いてネジで固定してください。

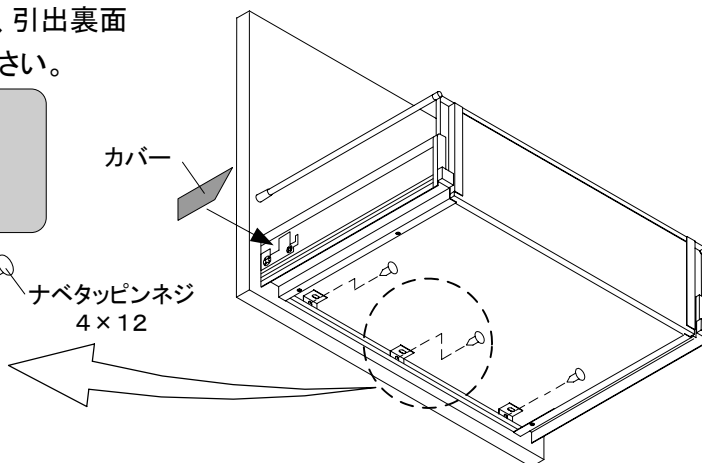
注) 固定箇所は扉の高さによって変わります。

- ・扉高さ450mm以上: 3箇所
- ・扉高さ450mm未満: 1箇所

前板補強金具



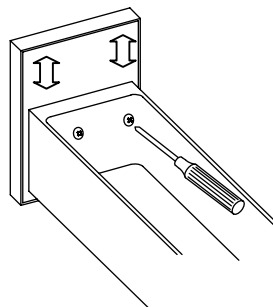
ナベタツピンネジ
4×12



【3. コンロ横15小引出の場合】

○上下調整

ネジを緩めることにより上下に動きます。
調整後、必ずネジを締め直してください。



5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分を防カビタイプのシリコンでコーキング処理してください。

【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。

洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③給排水配管と引出の干渉確認(スライドタイプ・足元スライドタイプの場合)

引出が給排水配管、食器洗い乾燥機・浄水器等への分岐配管、シャワーホース等と接触していないか確認してください。接触している場合は、接触しないように配管等の位置を調整してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめてキャビネットの引出に収納してお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3. 梱包材その他設置用部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鷺野東1丁目2番1号
TEL 06-6962-1531

10154672

5L-6

SK60(H)設置説明書